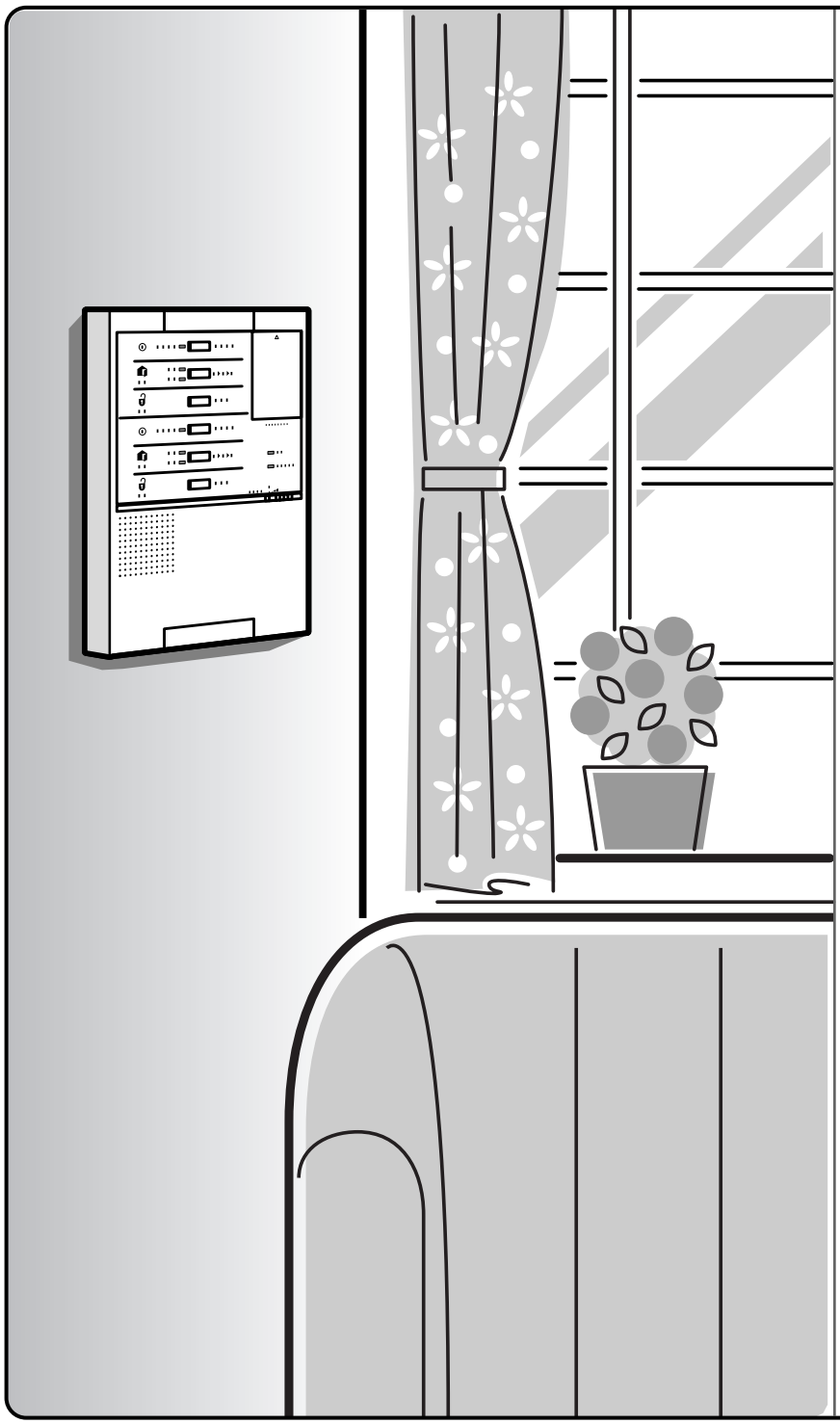
Panasonic

# 電気錠操作ユニット

(2回路)(埋込型) 品番 WQN4133WK
(2回路)(露出型) 品番 WQN45331W

## 取扱説明書

保証書別添付
施工説明書別添付



●このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
**ご使用前に「安全上のご注意」(1ページ)を必ずお読みください。**
●保証書は、「お買い上げ日・販売者名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

## ご使用前に

●この商品は室内から玄関の電気錠を施・解錠する機能とドアの開閉により報知・警報を知らせる機能を持っています。また、シークレットスイッチを接続して暗証番号により施・解錠する機能や、非接触式キーリーダーを接続して非接触式カード・非接触式タグにより施・解錠する機能を持っています。
●電気錠システムは盗難防止器ではありませんので、盗難事故などの損害については、責任を負い兼ねますので、ご了承ください。

万一の停電・故障に備えて、外出のときは必ずキーを持って出かけてください。

# 安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

**■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 |
| ⚠注意 | 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

**■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）**

| | | | |
|---|---|---|---|
| | してはいけない内容です。 | | 実行しなければならない内容です。 |

## ⚠警告

| | |
|---|---|
| 分解禁止 | **●絶対に分解したり修理・改造しない。**<br>感電の原因となります。 |
| 必ず守る | **●小さなお子様が非接触式タグ（別売）を誤って飲まないようにする。**<br>万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。 |
| | **●非接触式タグ（別売）はお子様の手の届かないところへ置く。**<br>万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。 |

## ⚠注意

| | |
|---|---|
| 分解禁止 | **●電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源（別売）は絶対に分解しない。**<br>電解液は強アルカリ性ですので、皮膚や衣類をいためたりします。 |
| 禁止 | **●交換した電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源（別売）は、火中に投入しない。**<br>電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源（別売）が破裂する場合があり、危険です。電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源（別売）はリサイクルにご協力ください。 |
| 必ず守る | **●コネクタは極性を守って正しく差し込む。**<br>逆に差し込むと電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源（別売）のふくれや破裂の危険性があります。 |

# もくじ


■安全上のご注意 ―― 1
■ご注意 ―― 3~4
■各部のなまえとはたらき ―― 5~6
■シークレットスイッチの暗証番号の設定方法 ―― 7
■非接触式カード・非接触式タグの登録について ―― 8
■非接触式カード・非接触式タグの登録方法 ―― 9~16
●登録モード移行操作 …… 9~10
●エラー表示について …… 9~10
マスターキー登録設定「無」の場合
●登録について …… 11
マスターキー登録設定「有」の場合
●マスターキー登録について …… 12
●登録について …… 13
マスターキー登録設定「無」の場合　マスターキー登録設定「有」の場合
●回路別登録消去設定について …… 14
●登録個別消去について …… 15
●登録全消去について …… 16
■ご家族の外出 ―― 17~18
■ご家族の帰宅 ―― 19~20
■お客様が見えたとき ―― 21~22
■お客様がお帰りになるとき ―― 23~24
■警報について ―― 25
■開戸報知音・警報音の止め方 ―― 26
■ネームカードについて ―― 26
■機能設定 ―― 27~28
■故障かな？と思われたら ―― 29~30
■仕様 ―― 31
■保証とアフターサービス ―― 32

# ご注意

## ▶使用上のご注意

●電気錠システムに接続されているブレーカーは長時間切らないでください。
（万一、ブレーカーまたはAC100V通電を切る必要があるときは、電気錠を解錠状態にしてください。）
●万一の停電・故障に備えて、外出するときは必ずキーを持って出かけてください。
●ドアが完全に閉まっていないと、施錠できない場合があります。
施錠操作したときは必ず解錠表示灯が消えたことをお確かめください。
●モーター式電気錠（別売）使用時、開戸中は電気錠のトリガーには触れないでください。
電気錠操作ユニットの自動施錠「入・切」スイッチが「入」側の場合、トリガーを押すと、デッドボルトが出てしまい、ドアが閉められなくなります。また、警戒モードのときは警報音（ピーポー）が鳴ります。（25ページ参照）
●暗証番号を忘れた場合はシークレットスイッチでドアを解錠することができません。
忘れない番号にするか、メモなどで確実にわかるようにしてください。
●シークレットスイッチは暗証番号を間違って入力してエンドボタンを押すと、次にスタートボタンを押しても約10秒間は入力できません。（番号を間違って入力し、エンドボタンを押した場合は約10秒間お待ちください。）
●自動施錠「入・切」スイッチを「入」側に設定すると自動的に施錠されます。
シークレットスイッチを接続していない場合、外出するときは必ずキーを持って出かけてください。
ただし、機能設定により自動施錠「無」側にも設定できます。（詳しくは27～28ページを参照してください。）
●非接触式カード・非接触式タグを使用する場合は、登録が必要です。（詳しくは8～16ページを参照してください。）
●非接触式カードと非接触式キーリーダーとの制御可能距離は約2.5cmです。
●非接触式タグと非接触式キーリーダーとの制御可能距離は約1cmです。
●非接触式カード・非接触式タグは曲げたり、ねじったり、強い衝撃を与えると使えなくなることがありますのでご注意ください。
●非接触式カード・非接触式タグは穴あけなどの加工は行わないでください。
●非接触式カード・非接触式タグは、他の非接触式カード・非接触式タグや他のカード、金属物などと重ねて使用すると、動作しないことがあります。
●悪用防止のため、非接触式カード・非接触式タグをなくされた場合は、すぐにその非接触式カード・非接触式タグの登録を電気錠操作ユニットから消去してください。（詳しくは9～16ページを参照してください。）
非接触式カード・非接触式タグに名前や住所は記入しないでください。
●マスターキーをなくされた場合は、登録されているすべての非接触式キー・非接触式タグを消去し、再度登録をしてください。
●この電気錠システムには、非接触式タグ（EK3893）、非接触式カード（EK3895）のみ使用できます。
他のカードやタグは使用できません。
●サムターンまたはキーなどで手動解錠できない場合は、電気錠操作ユニットからの操作でも解錠できません。

## ▶停電したら

●この商品は、予備電源（バッテリー）を内蔵していませんので、停電の場合は動作しません。
別途、電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源（WQN48）（別売）をお買い求めいただき接続すると、停電したり、電源が切られたりした場合に自動的に切り替わります。
●停電バックアップ電源が接続されている場合、電気錠操作ユニットの施解錠押ボタンは動作しますが、電気錠操作押釦（EK3850W）では施解錠できません。（ただし、電気錠操作ユニットおよび電気錠操作押釦の開戸および解錠表示灯は消灯します。）また、シークレットスイッチ・非接触式キーリーダーは、通常通り使用できます。
●電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源（WQN48）（別売）を接続した場合の停電バックアップ時間は下記のようになります。

●シークレットスイッチ・2線式電気錠を1回路につき各1台接続時：約8時間（約8時間以内に1回動作可能）（2ヵ所）
●非接触式キーリーダー・シークレットスイッチ・2線式電気錠を1回路につき各1台接続時：約4時間（約4時間以内に1回動作可能）（2ヵ所）

※上記は、使用周囲温度20℃、新品電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源で満充電時での停電バックアップ時間です。温度・電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源の使用期間により停電バックアップ時間は短くなります。
※電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源の充電時間は、48時間で満充電となります。
※電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源は2年に一度交換してください。

●電気工事などで長時間停電するような場合は、電気錠を解錠状態にして、主錠で施・解錠を行ってください。

Ni-MH

●電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源(WQN48)(別売)には、
ニッケル水素電池を使用しております。
ニッケル水素電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
ニッケル水素電池の交換、およびご使用済製品の廃却に際しましては、
ニッケル水素電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。

## お 手 入 れ

### ふだんのおそうじは…

やわらかい布でふき取ってください。

### 汚れが目立つときは…

中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を
浸し、固く絞ってふき取ってください。
噴霧式の洗剤は使用しないでください。

**注 ベンジンなどは引火性があるため、
使用しないでください。**

## 使用上のご注意

**●水をかけないで!**
故障の原因となります。

**●ストーブなど高温の物を近づけないで!**
故障の原因となります。

**●炊飯器など湯気の出る物を下に置かないで!**
故障の原因となります。

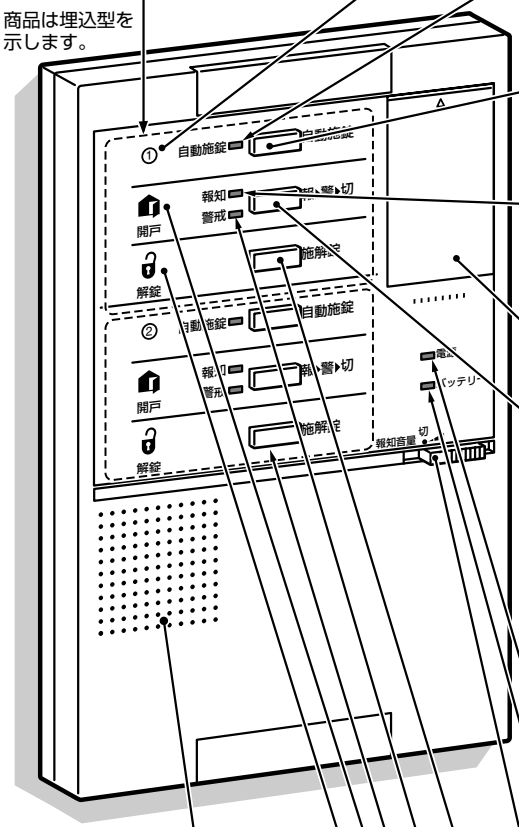
**●テレビ・ラジオなどは2m以上離して!**
映像や音声が乱れる場合があります。

# 各部のなまえとはたらき

●お客様がご使用の商品品番は、商品本体の正面に明示しておりますので、ご確認ください。

## 電気錠操作ユニット(2回路)(埋込型)(WQN4133WK)

## 電気錠操作ユニット(2回路)(露出型)(WQN45331W)




### 取付場所表示窓

●付属のネームカードの中から「門」「玄関」「勝手口」など適当なものを選んで貼り付けてください。

(ネームカードについて➡26ページ)

### 自動施錠表示灯

●緑色点灯で自動施錠「入」側であることを示します。「入」側のときは、ドアを閉めたとき自動的に施錠します。

### 自動施錠「入・切」スイッチ(送りボタン)

●押すたびに「入」「切」を繰り返します。

(注) 登録モード時、自動施錠「入・切」スイッチは送りボタンになります。(10・14～15ページ参照)

### 報知表示灯

●緑色点灯で「報知」状態を表示し、ドアが開くと開戸報知音(ポロロン)が鳴動します。

●消灯時はドアが開いても開戸報知音(ポロロン)は鳴動しません。(「報知」状態ではありません。)

### カバー

### 報知／警戒／切スイッチ(決定ボタン)

●押すたびに「切」➡「報知」➡「警戒」➡「切」とモードがかわります。

●「報知」モード：報知表示灯が緑色点灯し、ドアが開くと開戸報知音(ポロロン)が鳴動します。

●「警戒」モード：警戒表示灯が赤色点灯し、サムターンまたはキーなどで手動解錠すると赤色点滅し、警報音(ピーポー)が鳴動します。また、解錠中にドアが開くと開戸報知音(ポロロン)が鳴動します。

●「切」モード：●報知表示灯が消灯し、ドアが開いても開戸報知音(ポロロン)は鳴動しません。
●警戒表示灯が消灯し、ドアが開いても警報音(ピーポー)、開戸報知音(ポロロン)は鳴動しません。

(注) 登録モード時、報知／警戒／切スイッチは決定ボタンになります。(10・14～16ページ参照)

### 電源灯

●緑色点灯で電源が入っていることを示します。

### 音量ツマミ

●開戸報知音(ポロロン)の音量を調節するときに使います。

(注) 警報音(ピーポー)は調節できません。

### 施解錠押ボタン

●ドアを施錠状態または解錠状態にするときに使います。

### スピーカー

●開戸報知音(ポロロン)や警報音(ピーポー)が聞こえます。

### 解錠表示灯

●赤色点灯で電気錠解錠状態を示します。

●消灯時は電気錠施錠状態を示します。

### 開戸表示灯

●赤色点灯でドアが開いていることを示します。

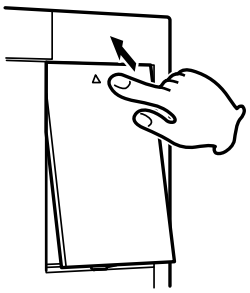
### 電 気 錠 ②

●この部分のスイッチ、表示灯などの使用方法などは 電気錠 ① と同じです。

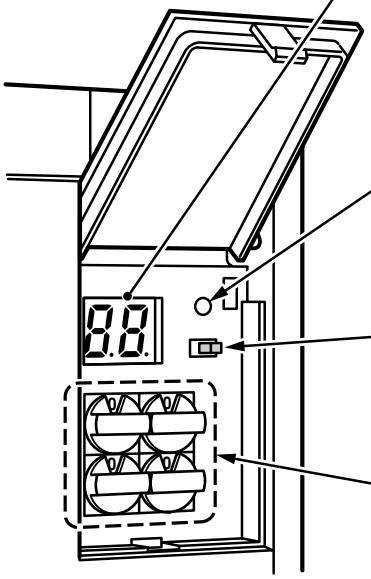
## ■接続可能機器

| 接続可能機器 | 機　能　説　明 |
|---|---|
| シークレットスイッチ | 外部から暗証番号でのドアの施・解錠機能 |
| 非接触式キーリーダー | 外部から非接触式カードまたは非接触式タグでのドアの施・解錠機能 |
| 電気錠操作押釦 | 電気錠操作ユニット以外でのドアの施・解錠機能<br>施・解錠表示および開戸表示・閉戸表示機能 |
| 電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源 | 予備電源 |

### カバーの開け方



### カバーを開けた状態



**登録表示**

●非接触式カードまたは非接触式タグの登録時、登録内容などを表示します。

●登録されている非接触式カード・非接触式タグでの施・解錠操作のときキー No.を表示します。

**（非接触式カード・非接触式タグの登録方法 ➡9～16ページ）**

**登録モードボタン**

●非接触式カードまたは非接触式タグを登録するときに使用します。

**（非接触式カード・非接触式タグの登録方法 ➡9・11・13～15ページ）**

●押すと、非接触式カードまたは非接触式タグの登録枚数の確認ができます。

**登録回路選択スイッチ**

●非接触式カードまたは非接触式タグを登録・回路別登録消去するときに使用します。

**（非接触式カード・非接触式タグの登録方法 ➡9・11～16ページ）**

**暗証番号設定スイッチ**

●暗証番号を設定するときに使用します。

**（シークレットスイッチの暗証番号の設定方法 ➡7ページ）**

**バッテリー表示灯**

●右記の表のように表示します。

| バッテリー表示灯の状態 | 内　　容 |
|---|---|
| 緑色点灯 | 正常です。 |
| 消　灯 | 電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源（別売）が接続されていません。停電バックアップ電源を使用しない場合は正常です。 |
| 赤色点滅 | 異常です。**（故障かな？と思われたら➡29ページ）** |

**警戒表示灯**

●赤色点灯で「警戒」状態を表示し、電気錠操作ユニット・電気錠操作押釦・シークレットスイッチ・非接触式キーリーダーで解錠せずにドアが開くと警報音（ピーポー）が鳴動します。
（サムターンまたはキーなどで解錠した場合、警報音（ピーポー）が鳴ります。）
また、解錠中にドアが開くと開戸報知音（ポロロン）が鳴動します。

施工店設定 機能設定でこじ開け（施錠状態で扉が開いた場合）時のみ警報音（ピーポー）を鳴らすこともできます。（施工店に相談してください。）**（警戒モード切替設定➡27～28ページ）**

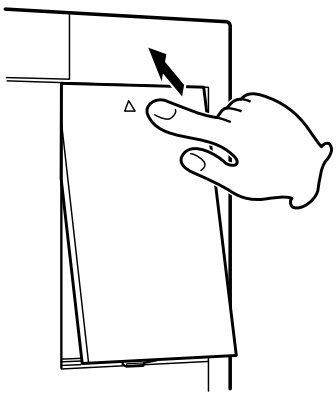
●消灯時はドアが開いても警報音（ピーポー）、開戸報知音（ポロロン）は鳴動しません。（「警戒」状態ではありません。）

# シークレットスイッチの暗証番号の設定方法

注 電気錠①、電気錠②の暗証番号は同じになります。
別々に設定することはできません。

## 1 カバーを開ける。

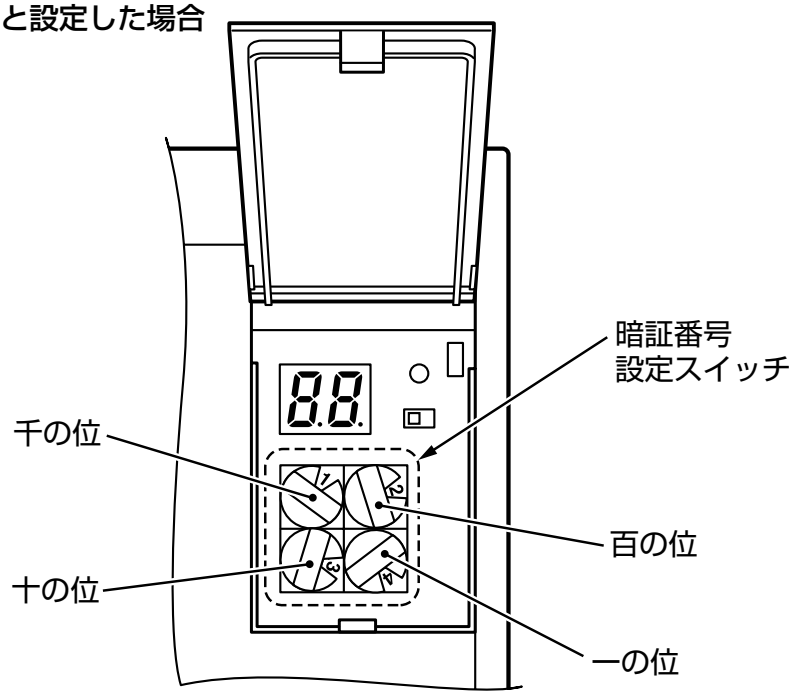
●斜め上方に向けて押すと開きます。



## 2 暗証番号設定スイッチで4ケタの番号を設定する。

●暗証番号は必ず4ケタで設定してください。

注 図は暗証番号を1234と設定した場合




●暗証番号はメモなどして忘れないようにしてください。
●暗証番号を変更されるときはご家族に十分徹底させてください。

| 暗証番号 | | | | |
|---|---|---|---|---|

# 非接触式カード・非接触式タグの登録について

## ■はじめに

●非接触式カード・非接触式タグは、電気錠への登録が必要です。

●セキュリティ性を重視する場合は、非接触式カードまたは非接触式タグをマスターキーとして登録してください。
マスターキーを登録した場合、マスターキーがないと非接触式カード･非接触式タグの登録はできません。

## ■マスターキー登録設定「無」の場合

**❶機能設定(27～28ページ)でマスターキー登録設定が「無」側に設定されていることをご確認ください。**

**❷非接触式カード・非接触式タグを登録する。**

登録する回路側の電気錠を解錠し、扉を開く
(開戸・解錠状態)

↓

登録回路選択スイッチを登録したい回路側に切り替える

↓

登録モードボタンを長押し(約3秒)する：H1 点滅
(登録モードに入る)

↓

①回路側の報知／警戒／切スイッチを押す：H1 点灯

↓

非接触式キーリーダーに登録したい非接触式カード・非接触式タグをかざし、非接触式キーリーダーより「ピー」音が鳴動する(登録完了)
(複数枚登録する場合は続けて次の非接触式カード・非接触式タグをかざす)

↓

登録モードボタンを長押し(約3秒)する
(登録モード終了)

注 登録モード終了後、登録モードボタンを押すと、登録表示部に登録されている非接触式カード・非接触式タグの登録枚数が表示されますので、枚数が正しいかご確認ください。

## ■マスターキー登録設定「有」の場合

**❶機能設定(27～28ページ)でマスターキー登録設定が「有」側に設定されていることをご確認ください。**

**❷マスターキーを登録する。(登録されている場合は不要)**

電気錠を解錠し、扉を開く(開戸・解錠状態)

↓

登録回路選択スイッチを①回路側に切り替える

↓

登録モードボタンを長押し(約3秒)する：H2 点滅
(登録モードに入る)

↓

①回路側の自動施錠「入･切」スイッチを3回押す：H5 点滅

↓

①回路側の報知／警戒／切スイッチを押す：H5 点灯

↓

非接触式キーリーダーにマスターキーとして登録したい非接触式カード ・非接触式タグをかざす(登録完了)

↓

登録モード終了(自動で終了)

**❸非接触式カード・非接触式タグを登録する。**

電気錠を解錠し、扉を開く(開戸・解錠状態)

↓

登録回路選択スイッチを登録したい回路側に切り替える

↓

登録モードボタンを長押し(約3秒)する：H2 点滅
(登録モードに入る)

↓

①回路側の自動施錠「入･切」スイッチを3回押す：H6 点滅

↓

①回路側の報知／警戒／切スイッチを押す：H6 点灯

↓

非接触式キーリーダーにマスターキーをかざし、非接触式キーリーダーより「ピー」音が鳴動する
(マスターキー読込完了)

↓

非接触式キーリーダーに登録したい非接触式カード・非接触式タグをかざし、非接触式キーリーダーより「ピー」音が鳴動する(登録完了)
(複数枚登録する場合は続けて次の非接触式カード・非接触式タグをかざす)

↓

登録モードボタンを長押し(約3秒)する(登録モード終了)

注 登録モード終了後、登録モードボタンを押すと、登録表示部に登録されている非接触式カード・非接触式タグの登録枚数が表示されますので、枚数が正しいかご確認ください。

# 非接触式カード・非接触式タグの登録方法

(注)●非接触式カード・非接触式タグを使用する場合は、登録が必要です。
●マスターキーを登録する場合は、モード番号 H1 は使用しません。その場合、回路ごとの非接触式カード・非接触式タグの登録は、モード番号 H5 で行ってください。
●セキュリティ性を重視する場合は、マスターキーを登録してください。マスターキーを登録した場合、マスターキーがないと非接触式カード・非接触式タグの登録はできません。12～13ページを参照してください。
●非接触式カードと非接触式キーリーダーとの制御可能距離は約2.5cmです。
●非接触式タグと非接触式キーリーダーとの制御可能距離は約1cmです。

## 登録モード移行操作

(注)エラー表示については、「エラー表示について」(9～10ページ)を参照してください。

### 1 登録回路選択操作。

❶カバーを開け、カバー内の登録回路選択スイッチを切り替え、登録操作を行う回路を選択する。

(注)●電気錠②回路側を登録する場合、登録回路選択スイッチを「②」側に設定してください。
●「マスターキー登録について」(12ページ)
「登録個別消去について」(15ページ)
「登録全消去について」(16ページ)の操作の場合、登録回路選択スイッチを「①」側にしてください。

### 2 モード選択状態への移行。

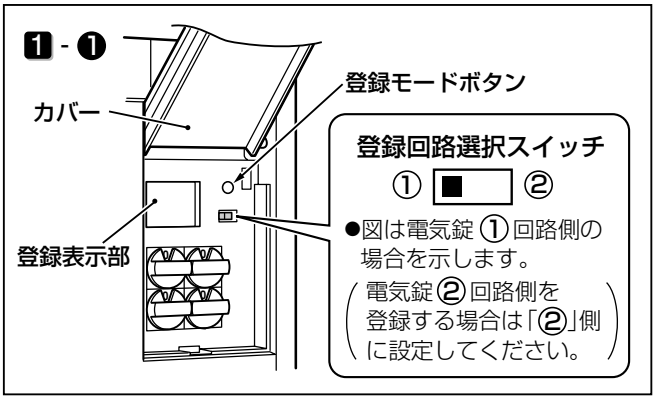
❶1 -❶で選択した回路側の電気錠を開戸・解錠状態にする。

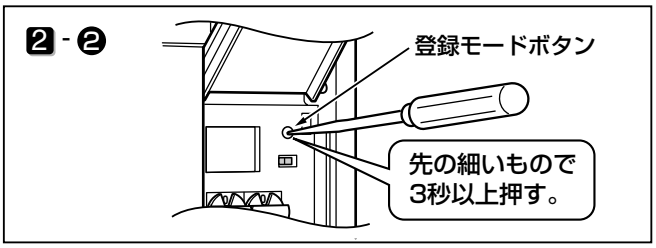
(注)「登録について」(11～13ページ)の操作のときのみ必要です。

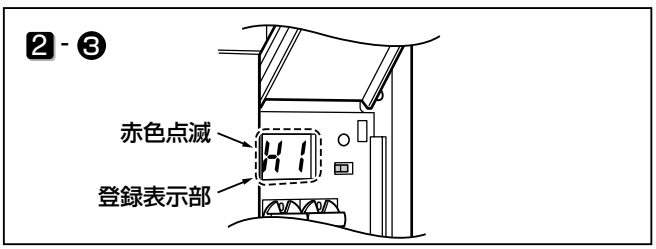
❷登録モードボタンを先の細いもので押すと、登録枚数が表示され、そのまま3秒以上押し、モード選択状態へ移行する。

❸登録表示部に H1 または H2 が赤色点滅する。

(注) 2 -❷以降の操作で何も操作しない状態が1分以上続くと、自動的に登録モードを終了するので、2の操作からやり直してください。




## エラー表示について

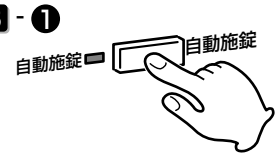
| 登録表示部の表示 | 登録表示部の内容 | 動　　作 | 内　　容 |
|---|---|---|---|
| E1 | 登録不可 | ●登録表示部に E1 が3秒間表示され、自動的に登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。 | ●非接触式カード・非接触式タグがすでに99枚登録されていて登録できない場合に表示されます。 |
| E2 | 該当データなし | ●登録表示部に E2 が3秒間表示され、自動的に登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。 | ●非接触式カード・非接触式タグが1枚も登録されていないとき、「回路別登録消去設定について」(14ページ)「登録個別消去について」(15ページ)「登録全消去について」(16ページ)の操作を行った場合に表示されます。 |
| E3 | シリアルNo.重複 | ●登録表示部に E3 が3秒間表示されます。 | ●すでに登録された非接触式カード・非接触式タグを登録しようとした場合に表示されます。 |

## ❸ 電気錠操作ユニットからのモード選択操作。

❶送りボタン(電気錠①回路側の自動施錠「入・切」スイッチ)を押し、操作する内容のモード番号を選択する。

注 1回押すごとに登録表示部のモード番号がかわります。

❸-❶



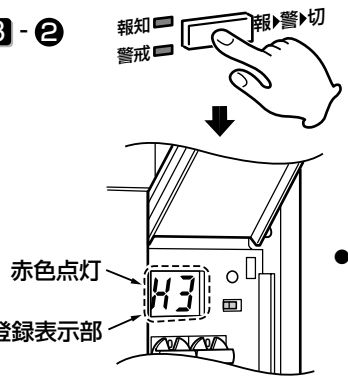

電気錠①回路側の自動施錠「入・切」スイッチ

※②回路側に登録する場合も①回路側のスイッチを押してください。

❷決定ボタン(電気錠①回路側の報知／警戒／切スイッチ)を押す。

注 H1 H5 H6 選択時、登録回路選択スイッチで選択した回路側の電気錠が開戸・解錠状態でない場合、登録表示部にエラー表示(E5)が3秒間表示され、自動的に登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。

❸-❷




電気錠①回路側の報知／警戒／切スイッチ

※②回路側に登録する場合も①回路側のスイッチを押してください。

●図は非接触式カード・非接触式タグの「登録個別消去」を選択した場合を示します。

## ❹ 決定したモード番号での操作を行う。

●詳細は11～16ページを参照してください。

| モード番号 | 内　容 | 参照ページ |
|---|---|---|
| H1 | **マスターキー登録設定「無」の場合**<br>回路ごとの非接触式カード・非接触式タグの登録をします。<br>**マスターキー登録設定「有」の場合**<br>使用しません。<br>(マスターキー登録設定(27ページ)が「有」側の場合 H1 は表示されません。回路ごとの非接触式カード・非接触式タグの登録は、モード番号 H6 で行ってください。) | 11ページ |
| H2 | 回路ごとの非接触式カード・非接触式タグの登録を個別消去します。 | 14ページ |
| H3 | 両方の回路の非接触式カード・非接触式タグの登録を個別消去します。 | 15ページ |
| H4 | 両方の回路の非接触式カード・非接触式タグの登録を全て消去します。<br>マスターキーの登録も消去されます。 | 16ページ |
| H5 | **マスターキー登録設定「無」の場合**<br>使用しません。<br>(マスターキー登録設定(27ページ)が「無」側の場合 H5 は表示されません。)<br>**マスターキー登録設定「有」の場合**<br>マスターキーの登録をします。 | 12ページ |
| H6 | **マスターキー登録設定「無」の場合**<br>使用しません。<br>(マスターキー登録設定(27ページ)が「無」側の場合 H6 は表示されません。)<br>**マスターキー登録設定「有」の場合**<br>回路ごとの非接触式カード・非接触式タグを登録します。このモードで登録する場合は、H5 のモードでマスターキーの登録が必要です。 | 13ページ |

| 登録表示部の表示 | 登録表示部の内容 | 動　作 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| E4 | 回路選択設定不適 | ●登録表示部に E4 が3秒間表示され、自動的に登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。 | ●「マスターキー登録について」(12ページ)「登録個別消去について」(15ページ)「登録全消去について」(16ページ)の操作のとき、電気錠操作ユニットの登録回路選択スイッチが「①」側に選択されていない場合に表示されます。 |
| E5 | 電気錠状態不適 | ●登録表示部に E5 が3秒間表示され、自動的に登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。 | ●「マスターキー登録について」(12ページ)「登録について」(11・13ページ)の操作のとき、選択回路側の電気錠が開戸・解錠状態でない場合に表示されます。 |
| E6 | マスターキーのデータ不一致 | ●登録表示部に E6 が3秒間表示されます。 | ●「登録について」(13ページ)の操作のとき、登録されたマスターキーのデータと一致しない場合に表示されます。 |

# 登録について

●この操作は接続した非接触式キーリーダーで電気錠の施・解錠操作ができる非接触式カード・非接触式タグを登録する操作です。

注 ●登録できる非接触式カード・非接触式タグは99枚までです。

●登録した非接触式カード・非接触式タグのキーNo.は控えておいてください。
「回路別登録消去設定について」(14ページ)、「登録個別消去について」(15ページ)のとき必要です。

●キーNo.を確認するには、登録されている非接触式カード・非接触式タグで施・解錠操作をしてください。登録表示部にキーNo.が表示されます。

## 1 登録モード移行操作(9〜10ページ参照)を行い H1 を点灯させる。

注 ●操作中に電気錠の状態に変化があった場合、自動的に登録モードを終了するので、1 の操作からやり直してください。

●登録表示部に E5 が3秒間表示された場合は、「エラー表示について」(9〜10ページ)を参照してください。

## 2 登録表示部に H1 が赤色点灯した状態で、非接触式カードまたは非接触式タグを非接触式キーリーダーにかざす。

●登録表示部に登録されたキーNo.(01〜99)を3秒間表示し、H1 の表示に戻ります。

●非接触式キーリーダーの表示灯は、速い赤色点滅から(登録音(ピー)が鳴る)、赤色点灯にかわり、遅い赤色点滅になります。登録音(ピー)が鳴らない場合は再度、かざしてください。

注 ●最初の非接触式カードまたは非接触式タグを5分以内に非接触式キーリーダーにかざしてください。
5分以上経過すると自動的に登録モードを終了するので、1 の操作からやり直してください。

●非接触式キーリーダーからエラー音(ピッピッピッ)が鳴り、登録表示部に E1 または E3 が3秒間表示された場合は、「エラー表示について」(9〜10ページ)を参照してください。

### 続けて登録する場合

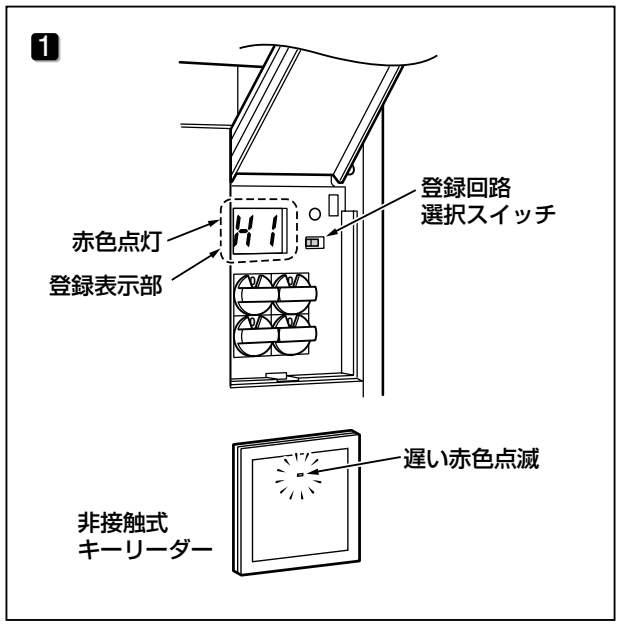
●2 の操作を繰り返してください。

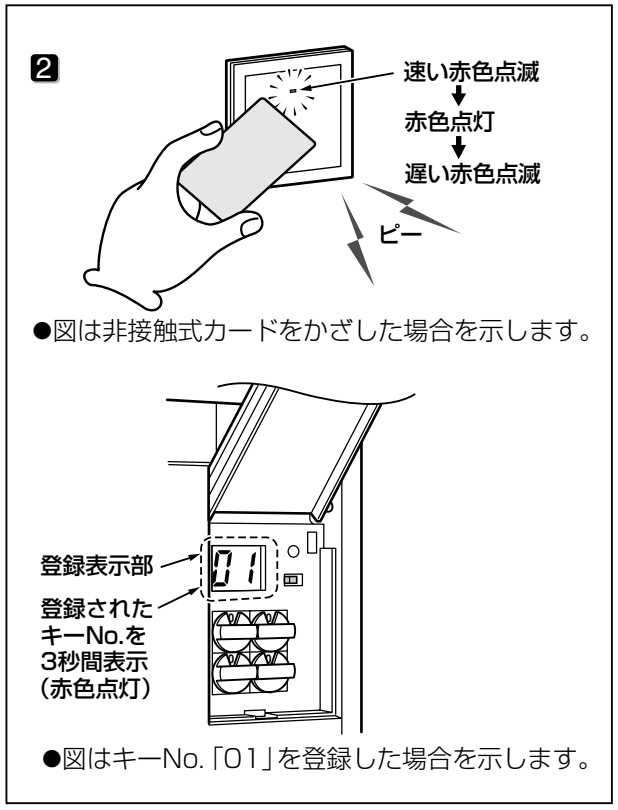
注 ●1分以上、次の登録がない場合、自動的に登録モードを終了します。

●100枚目の非接触式カード・非接触式タグを登録しようとした場合、登録表示部にエラー表示(E1)が3秒間表示され、自動的に登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。

## 3 操作終了後は、登録モードボタンを3秒以上押す。

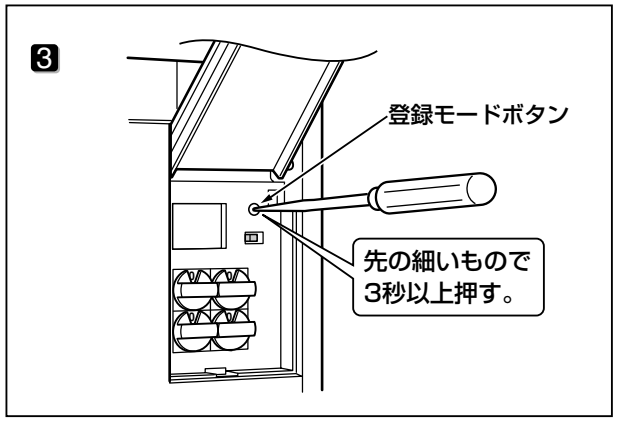
●登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。




●図は非接触式カードをかざした場合を示します。

●図はキーNo.「01」を登録した場合を示します。



## マスターキー登録について

●この操作はモード番号 H6（13ページ）で非接触式カード・非接触式タグを登録するときに必要なマスターキー（非接触式カードまたは非接触式タグ）を登録する操作です。

注 ●登録できるマスターキーは 1 枚のみです。
●登録したマスターキーは、両方の回路の電気錠の施解錠ができます。H6 で登録する必要はありません。
●マスターキーを確認するには、登録されている非接触式カードまたは非接触式タグで施・解錠操作をしてください。登録表示部に 00 が表示されます。
●マスターキーを再登録する場合は、「登録全消去について」（16 ページ）を行ってください。

### 1 登録モード移行操作（9〜10ページ参照）を行い H5 を点灯させる。

注 ●操作中に電気錠の状態に変化があった場合、自動的に登録モードを終了するので、1 の操作からやり直してください。
すでにマスターキーが登録されている場合は、登録表示部に H5 は表示されません。

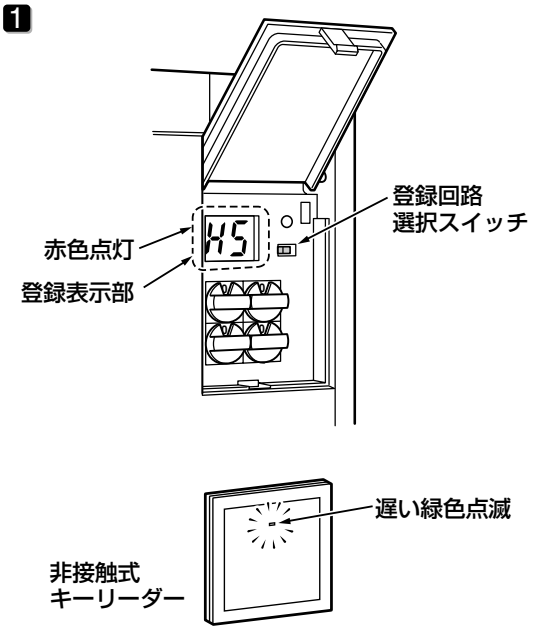
●登録表示部に E4 E5 が3秒間表示された場合は、「エラー表示について」（9〜10ページ）を参照してください。

### 2 登録表示部に H5 が赤色点灯した状態で、非接触式カードまたは非接触式タグを非接触式キーリーダーにかざす。

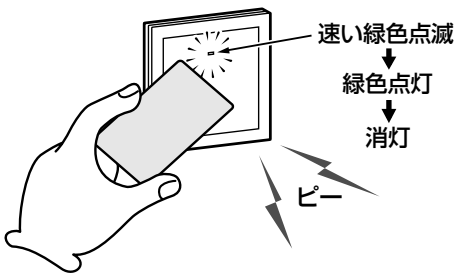
●登録表示部にマスターキーのNo.（00）を3秒間表示し、消灯します。
●非接触式キーリーダーの表示灯は、速い緑色点滅から緑色点灯（登録音（ピー）が鳴る）し、消灯します。
登録音（ピー）が鳴らない場合は再度、かざしてください。

注 非接触式カードまたは非接触式タグを5分以内に非接触式キーリーダーにかざしてください。
5分以上経過すると自動的に登録モードを終了するので、1 の操作からやり直してください。

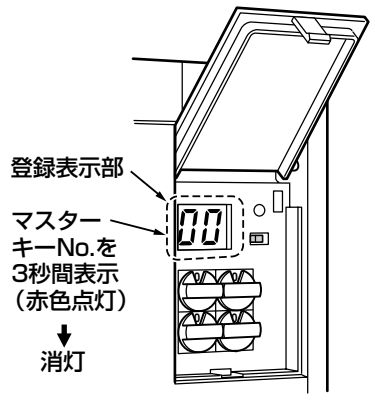
1




2




●図は非接触式カードをかざした場合を示します。




●図はマスターキー「00」を登録した場合を示します。

# 登録について

●この操作は接続した非接触式キーリーダーで電気錠の施・解錠操作ができる非接触式カード・非接触式タグを登録する操作です。

注 ●登録できる非接触式カード・非接触式タグは99枚までです。

●登録した非接触式カード・非接触式タグのキーNo.は控えておいてください。「回路別登録消去設定について」(14ページ)、「登録個別消去について」(15ページ)のとき必要です。

●キーNo.を確認するには、登録されている非接触式カード・非接触式タグで施・解錠操作をしてください。登録表示部にキーNo.が表示されます。

## 1 登録モード移行操作(9〜10ページ参照)を行い H5 を点灯させる。

注 ●操作中に電気錠の状態に変化があった場合、自動的に登録モードを終了するので、1 の操作からやり直してください。

●登録表示部に E5 が3秒間表示された場合は、「エラー表示について」(9〜10ページ)を参照してください。

## 2 登録表示部に H5 が赤色点灯した状態で、マスターキー(非接触式カードまたは非接触式タグ)を非接触式キーリーダーにかざす。

●非接触式キーリーダーの表示灯は、速い緑色点滅から(登録音(ピー)が鳴る)、緑色点灯にかわり、遅い赤色点滅になります。
登録音(ピー)が鳴らない場合は再度、かざしてください。

注 ●マスターキー(非接触式カードまたは非接触式タグ)を5分以内に非接触式キーリーダーにかざしてください。5分以上経過すると自動的に登録モードを終了するので、1 の操作からやり直してください。

●登録表示部に E6 が3秒間表示された場合は、「エラー表示について」(9〜10ページ)を参照してください。

## 3 非接触式カードまたは非接触式タグを非接触式キーリーダーにかざす。

●登録表示部に登録されたキーNo.(01 〜 99 )を3秒間表示し、H5 の表示に戻ります。

●非接触式キーリーダーの表示灯は、速い赤色点滅から(登録音(ピー)が鳴る)、赤色点灯にかわり、遅い赤色点滅になります。
登録音(ピー)が鳴らない場合は再度、かざしてください。

注 ●最初の非接触式カードまたは非接触式タグは1分以内に非接触式キーリーダーにかざしてください。1分以上経過すると自動的に登録モードを終了するので、1 の操作からやり直してください。

●非接触式キーリーダーからエラー音(ピッピッピッ)が鳴り、登録表示部に E1 または E3 が3秒間表示された場合は、「エラー表示について」(9〜10ページ)を参照してください。

### 続けて登録する場合

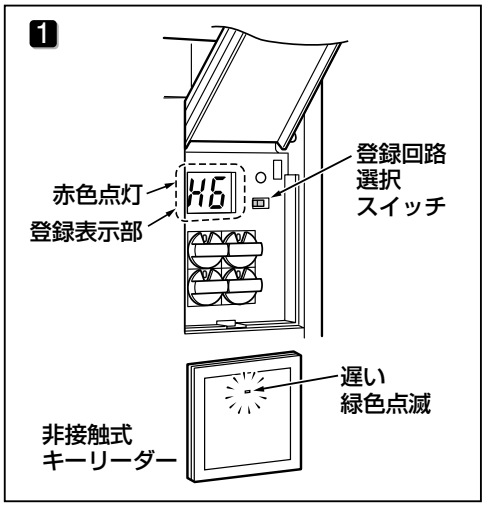
● 3 の操作を繰り返してください。

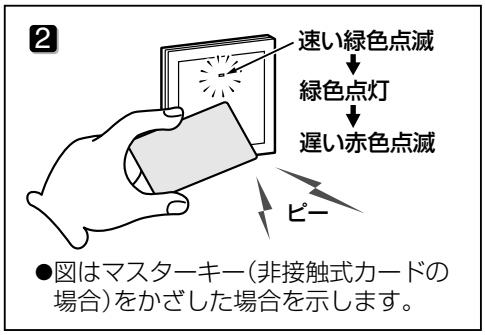
注 ●1分以上、次の登録がない場合、自動的に登録モードを終了します。

●100枚目の非接触式カード・非接触式タグを登録しようとした場合、登録表示部にエラー表示( E4 )が3秒間表示され、自動的に登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。

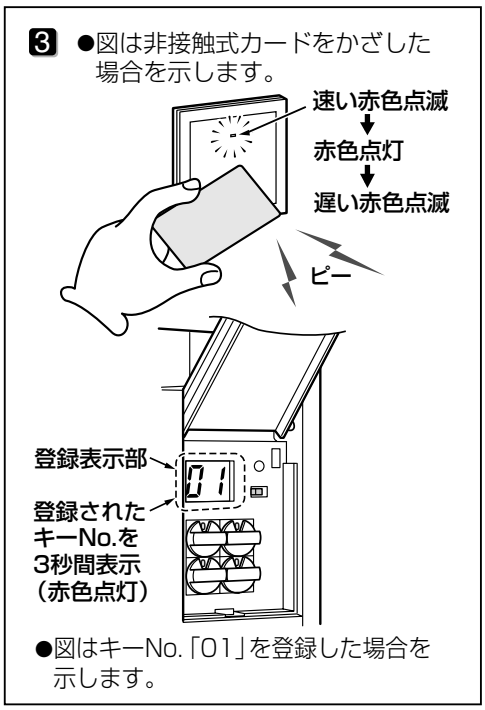
## 4 操作終了後は、登録モードボタンを3秒以上押す。

●登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。

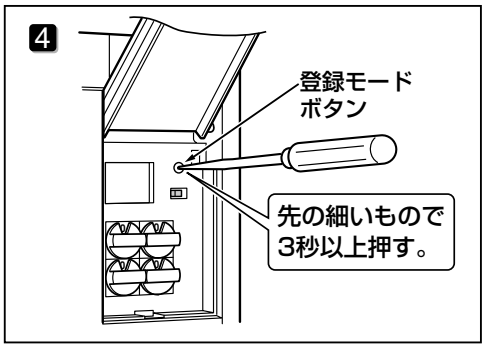



●図はマスターキー(非接触式カードの場合)をかざした場合を示します。




●図はキーNo.「01」を登録した場合を示します。



## 回路別登録消去設定について

●この操作は選択した回路に登録されている非接触式カード・非接触式タグでの施・解錠操作を無効にする設定です。また、両方の回路の非接触式カード・非接触式タグでの施・解錠操作を無効にするには、「登録個別消去について」（15ページ）の操作をしてください。

注 ●「回路別登録消去設定について」の操作方法は、マスターキーの登録に関係なく動作します。
●キーNo.を確認するには、登録されている非接触式カード・非接触式タグで施・解錠操作をしてください。登録表示部にキーNo.が表示されます。

**1 登録モード移行操作（9〜10ページ参照）を行い H2 を点灯させる。**

注 以下の操作で何も操作しない状態が1分以上続くと、自動的に登録モードを終了するので、1 の操作からやり直してください。ただし、5 の操作で、すでに登録消去された非接触式カードまたは非接触式タグは消去されています。

**2 登録表示部に H2 が赤色点灯した状態で、送りボタン（電気錠 ① 回路側の自動施錠「入・切」スイッチ）を押す。**

注 登録表示部に E2 が3秒間表示された場合は、「エラー表示について」（9〜10ページ）を参照してください。

**3 登録済みの最小値のキーNo.が登録表示部に表示される。**

連続して行う場合

**4 送りボタン（電気錠 ① 回路側の自動施錠「入・切」スイッチ）を押し、登録消去したいキーNo.を登録表示部に表示させる。**

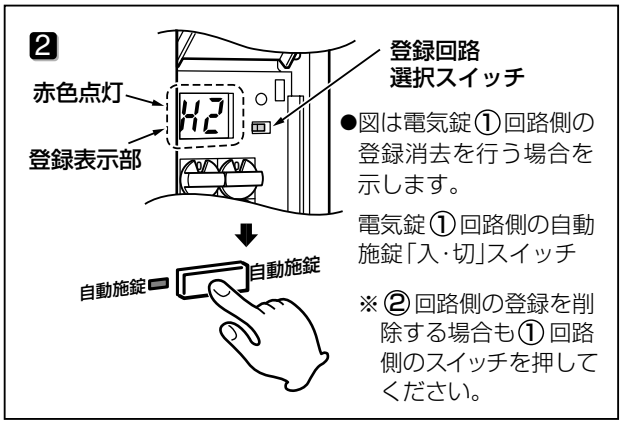
●押すごとに登録済みのキーNo.が最小値より順次表示されます。

**5 4 の状態で決定ボタン（電気錠 ① 回路側の報知／警戒／切スイッチ）を3秒以上押し、登録消去を行う。**

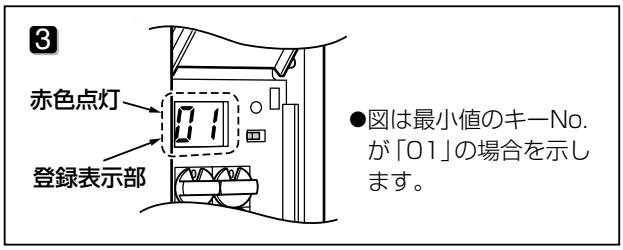
●次の登録済みの最小値のキーNo.が登録表示部に表示されます。

**6 操作終了後は、登録モードボタンを3秒以上押す。**

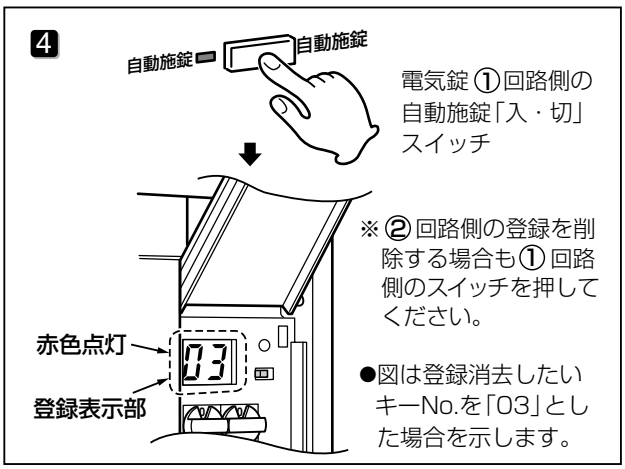
●登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。



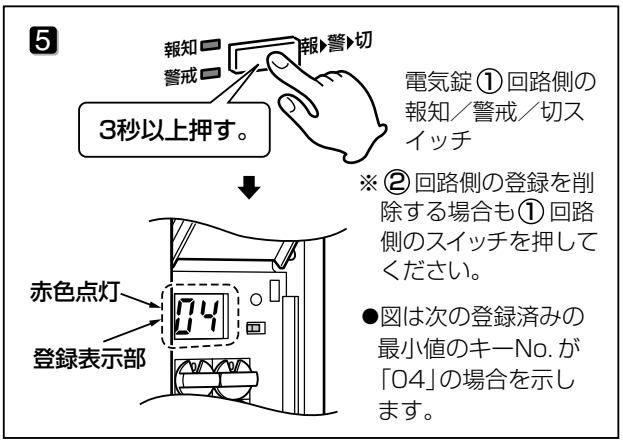

●図は電気錠 ① 回路側の登録消去を行う場合を示します。
電気錠 ① 回路側の自動施錠「入・切」スイッチ
※ ② 回路側の登録を削除する場合も ① 回路側のスイッチを押してください。



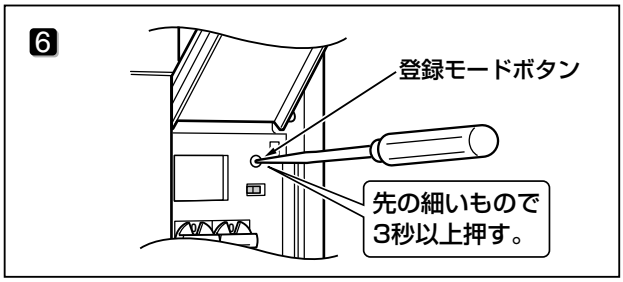

●図は最小値のキーNo.が「01」の場合を示します。




電気錠 ① 回路側の自動施錠「入・切」スイッチ
※ ② 回路側の登録を削除する場合も ① 回路側のスイッチを押してください。
●図は登録消去したいキーNo.を「03」とした場合を示します。




電気錠 ① 回路側の報知／警戒／切スイッチ
※ ② 回路側の登録を削除する場合も ① 回路側のスイッチを押してください。
●図は次の登録済みの最小値のキーNo.が「04」の場合を示します。



## 登録個別消去について

●この操作は両方の回路の非接触式カード・非接触式タグの登録を個別消去する操作です。
登録消去した非接触式カード・非接触式タグでの施・解錠操作はできなくなります。
再度、登録消去した非接触式カード・非接触式タグを使用される場合は、「登録について」(11～13ページ)の操作をしてください。

注 ●「登録個別消去について」の操作方法は、マスターキーの登録に関係なく動作します。
●キーNo.を確認するには、登録されている非接触式カード・非接触式タグで施・解錠操作をしてください。登録表示部にキーNo.が表示されます。

**1 登録モード移行操作(9～10ページ参照)を行い H3 を点灯させる。**

注 ●以下の操作で何も操作しない状態が1分以上続くと、自動的に登録モードを終了するので、1 の操作からやり直してください。ただし、5 の操作で、すでに登録消去された非接触式カードまたは非接触式タグは消去されています。
●登録表示部に E4 が3秒間表示された場合は、「エラー表示について」(9～10ページ)を参照してください。

**2 登録表示部に H3 が赤色点灯した状態で、送りボタン(電気錠①回路側の自動施錠「入・切」スイッチ)を押す。**

注 登録表示部に E2 が3秒間表示された場合は、「エラー表示について」(9～10ページ)を参照してください。

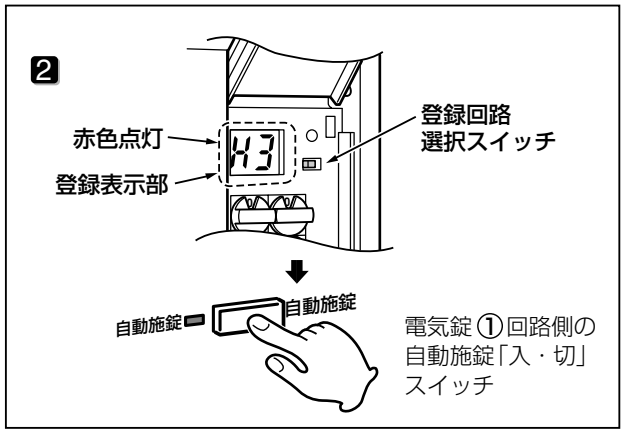
**3 登録済みの最小値のキーNo.が登録表示部に表示される。**

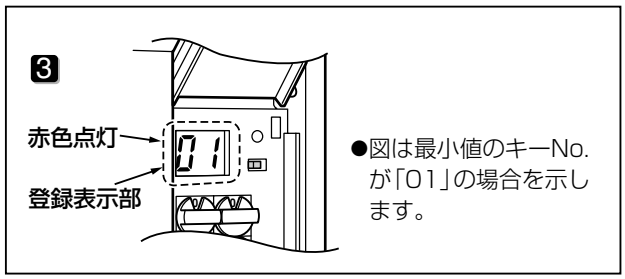
連続して行う場合

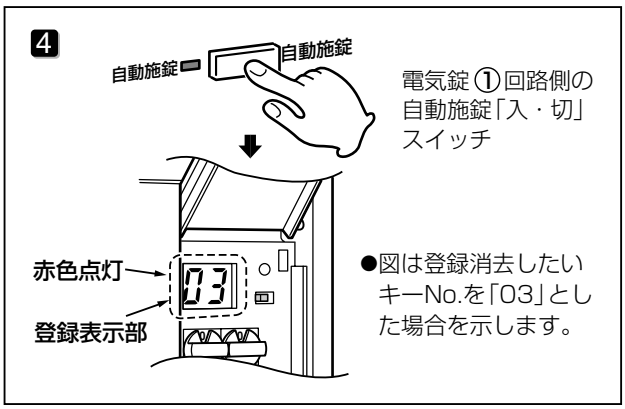
**4 送りボタン(電気錠①回路側の自動施錠「入・切」スイッチ)を押し、登録消去したいキーNo.を登録表示部に表示させる。**
●押すごとに登録済みのキーNo.が最小値より順次表示されます。

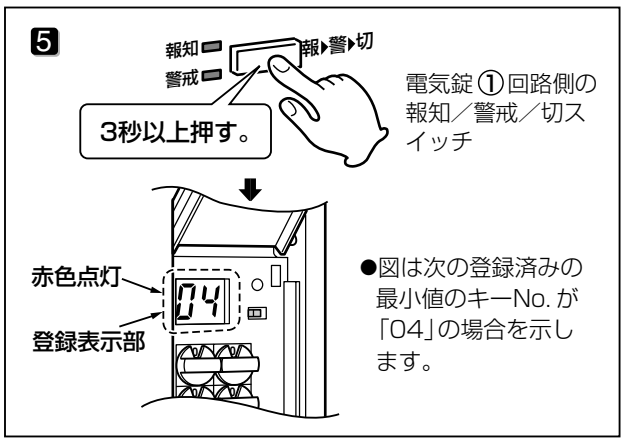
**5 4 の状態で決定ボタン(電気錠①回路側の報知／警戒／切スイッチ)を3秒以上押し、登録消去を行う。**
●次の登録済みの最小値のキーNo.が登録表示部に表示されます。

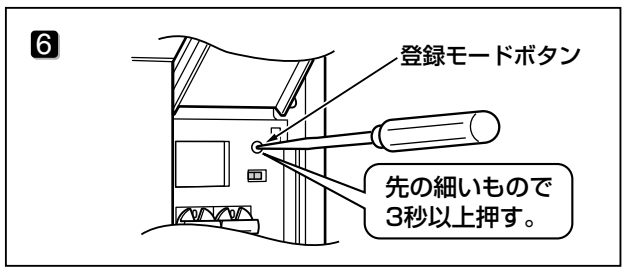
**6 操作終了後は、登録モードボタンを3秒以上押す。**
●登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。



## 登録全消去について

●この操作は両方の回路の非接触式カード・非接触式タグの登録をすべて消去する操作です。
（マスターキーも消去されます。）
登録されていた非接触式カード・非接触式タグでの施・解錠操作はできなくなります。
再度、非接触式カード・非接触式タグを使用される場合は、「登録について」（11～13ページ）の操作をしてください。

注 「登録全消去について」の操作方法は、マスターキーの登録に関係なく動作します。

### 1 登録モード移行操作（9～10ページ参照）を行い H4 を点灯させる。

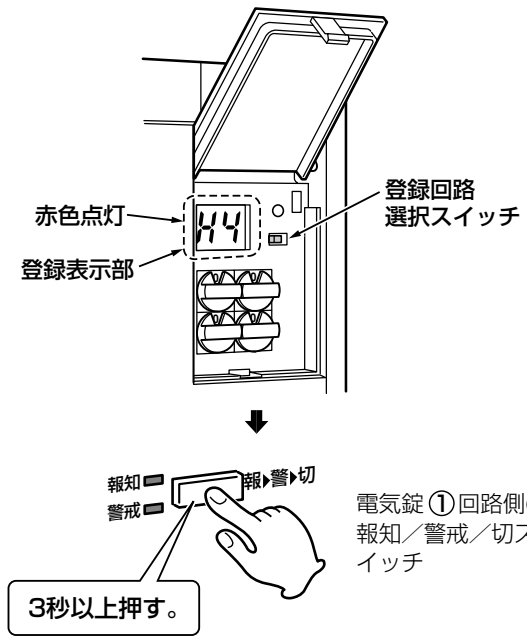
注 ●以下の操作で何も操作しない状態が1分以上続くと、自動的に登録モードを終了するので、1 の操作からやり直してください。

●1 の操作のとき、登録表示部に E2 または E4 が3秒間表示された場合は、「エラー表示について」（9～10ページ）を参照してください。

### 2 登録表示部に H4 が赤色点灯した状態で、決定ボタン（電気錠①回路側の報知／警戒／切スイッチ）を3秒以上押す。

●登録表示部が消灯し、登録モードを終了します。

2




電気錠①回路側の報知／警戒／切スイッチ

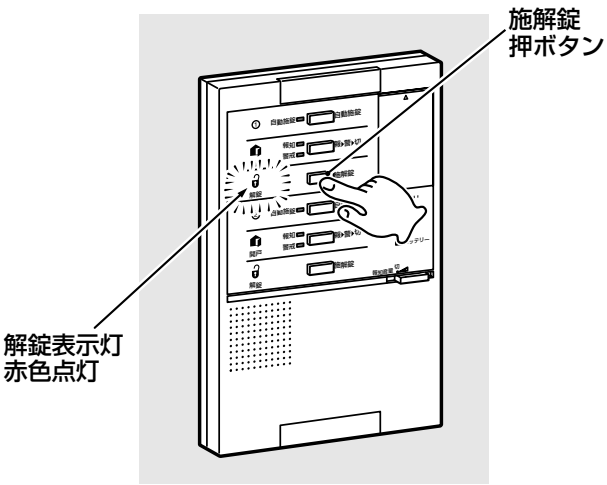
# ご家族の外出

●図は電気錠操作ユニットの電気錠①回路側を操作した場合を示します。
●電気錠操作ユニットは埋込型のイラストで説明しています。

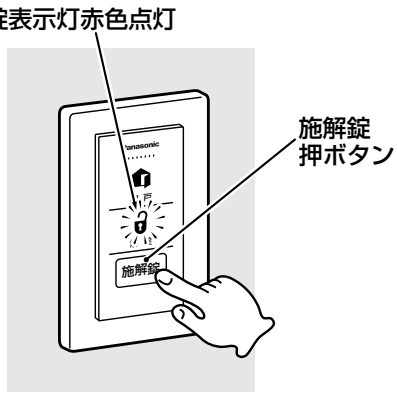
## ❶ドアの電気錠を解錠する。

●下記のいずれかの方法で行ってください。

●電気錠操作ユニットの施解錠押ボタンを押す。
（解錠表示灯が赤色点灯します。）

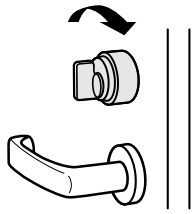



●電気錠操作押釦の施解錠押ボタンを押す。
（解錠表示灯が赤色点灯します。）




●サムターンを回して解錠する。
（ドアの内側）

注 門扉用の電気錠にはサムターンが付属されていないものもあります。



警戒モード時、サムターンを回して解錠した場合、警報音（ピーポー）が鳴ります。

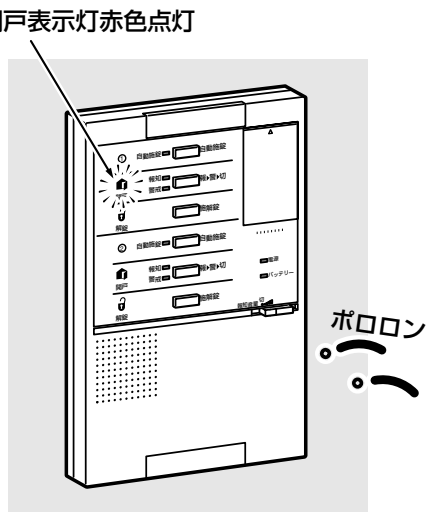
施工店設定

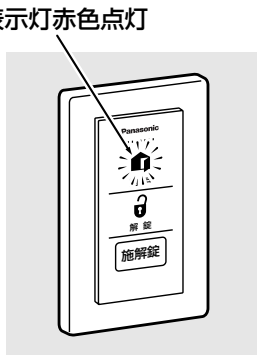
機能設定で警報音（ピーポー）を鳴らなくすることもできます。
（施工店に相談してください。）
（警戒モード切替設定➡27~28ページ）

## ❷ドアを開ける。

●電気錠操作ユニットより開戸報知音（ポロロン）が鳴る。
（報知・警戒モードの場合）

●電気錠操作ユニットおよび電気錠操作押釦の開戸表示灯が赤色点灯する。



## ❸ドアを閉めて施錠する。

### 電気錠操作ユニットの自動施錠が「入」（自動施錠表示灯が緑色点灯）の場合

●ドアを閉めると電気錠は自動的に施錠される。
（シークレットスイッチおよび非接触式キーリーダーから約1秒間ピー音が鳴ります。）

### 電気錠操作ユニットの自動施錠が「切」（自動施錠表示灯が消灯）の場合

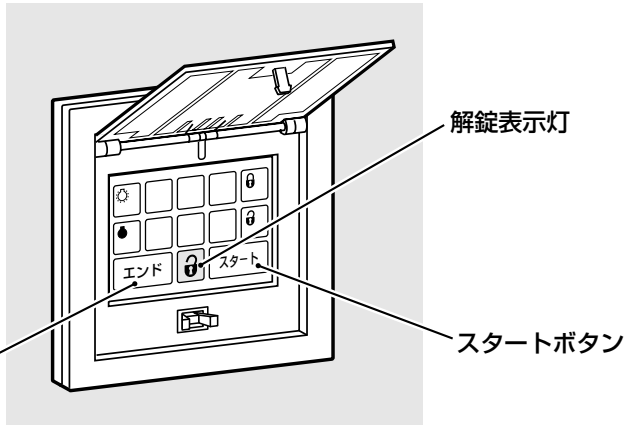
●シークレットスイッチのカバーを開け、次の順序で押ボタンを操作して施錠する。

**❶スタートボタンを押す。**
（ピッ音が鳴ります。）

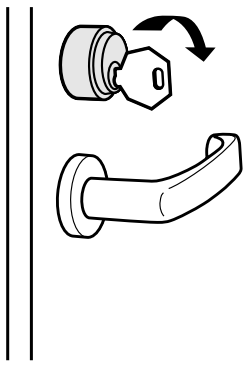
**❷エンドボタンを押す。**
（ピッ音が鳴ります。）

⬇

●約１秒間ピー音が鳴り解錠表示灯（🔓）が消灯する。

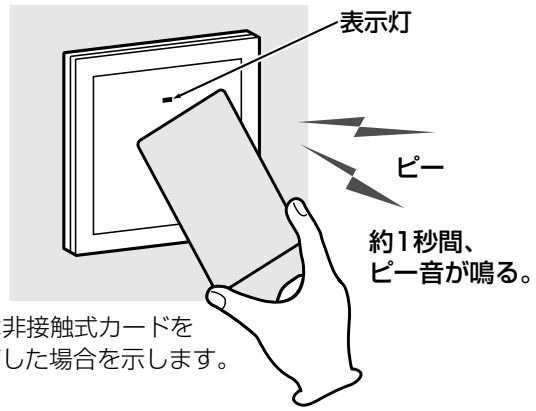



●シリンダーをキーで回して施錠する。
（ドアの外側）



●非接触式カードまたは非接触式タグを非接触式キーリーダーにかざして施錠する。
（表示灯が赤色点滅したあと、緑色点灯（約3秒間）し、消灯します。）

注 非接触式カード・非接触式タグは、他の非接触式カード・非接触式タグや他のカード、金属物などと重ねて使用しないでください。




●図は非接触式カードをかざした場合を示します。

●非接触式キーリーダーからエラー音（ピッピッピッ）が鳴った場合は、施錠されていません。再度、非接触式カードまたは非接触式タグを非接触式キーリーダーにかざして施錠してください。

注 何度操作してもエラー音（ピッピッピッ）が鳴り、施錠できない場合は正しく登録されていません。再度、登録しなおしてください。（「登録について」➡11～13ページ）

# ご家族の帰宅

●図は電気錠操作ユニットの電気錠①回路側を操作した場合を示します。
●電気錠操作ユニットは埋込型のイラストで説明しています。

## ❶ドアの電気錠を解錠する。

### シークレットスイッチによる解錠

●カバーを開け、次の手順で押ボタンの操作をする。

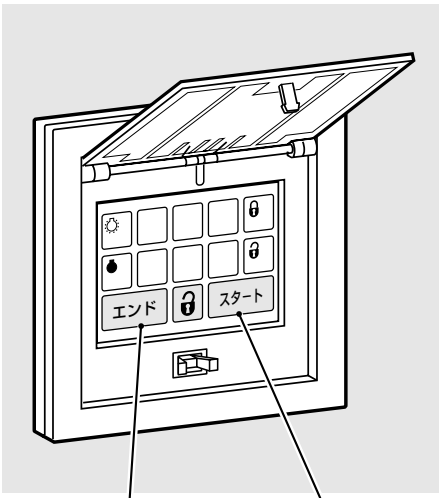
**❶スタートボタンを押す。**
（0～9までの番号が赤色点灯します。）

**❷暗証番号（4ケタ）を順に押す。**（7ページ参照）
（表示が番号からF1～F4に変わります。）

注 暗証番号が0023の場合、23と押しても動作しません。0023と押してください。

**❸エンドボタンを押す。**
約1秒間、ピー音が鳴り解錠表示灯（🔓）が赤色点灯する。
（電気錠操作ユニットおよび電気錠操作押釦の解錠表示灯も赤色点灯します。）

注 ●間違って操作したら約10秒間待って❶❷❸の操作をやり直してください。
●押ボタンを押す間隔は10秒間以内に行ってください。（表示が消えます。）




### 非接触式カードまたは非接触式タグによる解錠

●非接触式キーリーダーにかざして解錠する。
（表示灯が緑色点滅したあと、赤色点灯し、消灯します。）

注 非接触式カード・非接触式タグは、他の非接触式カード・非接触式タグや他のカード、金属物などと重ねて使用しないでください。

●非接触式キーリーダーからエラー音（ピッピッピッ）が鳴った場合は、解錠されていません。再度、非接触式カードまたは非接触式タグを非接触式キーリーダーにかざして解錠してください。

注 何度操作してもエラー音（ピッピッピッ）が鳴り、解錠できない場合は正しく登録されていません。再度、登録しなおしてください。（「登録について」➡11～13ページ）

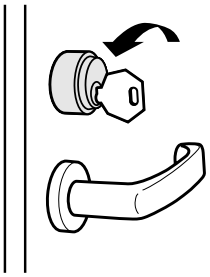
●図は非接触式カードをかざした場合を示します。

### カギによる解錠

●シリンダーをキーで回して解錠する。
（ドアの外側）

警戒モード時、シリンダーをキーで回して解錠した場合、警報音（ピーポー）が鳴ります。

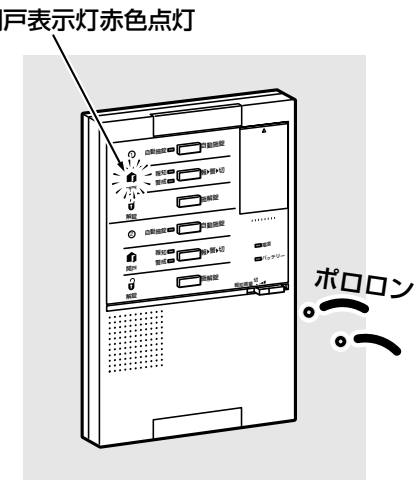
施工店設定 機能設定で警報音（ピーポー）を鳴らなくすることもできます。（施工店に相談してください。）（警戒モード切替設定 ➡ 27～28ページ）

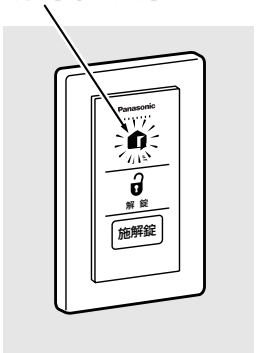


## ❷ドアを開ける。

●電気錠操作ユニットより開戸報知音（ポロロン）が鳴る。
（報知・警戒モードの場合）

●電気錠操作ユニットおよび電気錠操作押釦の開戸表示灯が赤色点灯する。



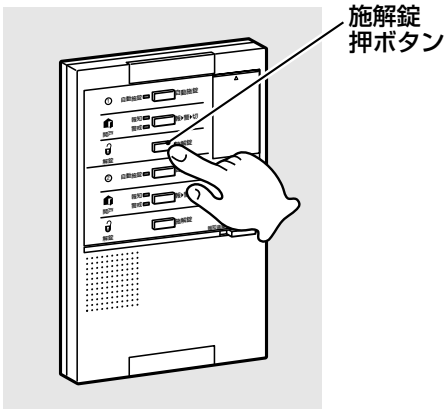

## ❸ドアを閉めて施錠する。

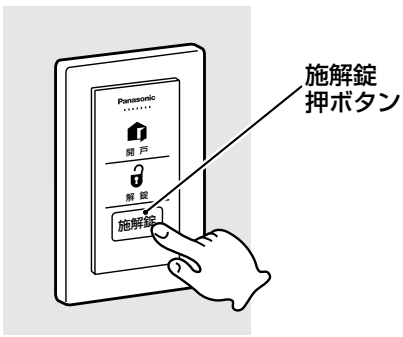
### 電気錠操作ユニットの自動施錠が「入」（自動施錠表示灯が緑色点灯）の場合

●ドアを閉めると電気錠は自動的に施錠される。
（シークレットスイッチおよび非接触式キーリーダーから約1秒間ピー音が鳴ります。）

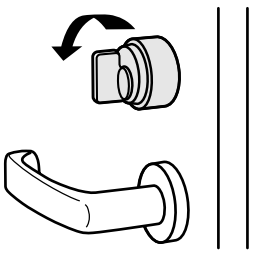
### 電気錠操作ユニットの自動施錠が「切」（自動施錠表示灯が消灯）の場合

●電気錠操作ユニットの施解錠押ボタンまたは電気錠操作押釦の施解錠押ボタンを押す。
（ドアが施錠され、解錠表示灯が消灯します。）



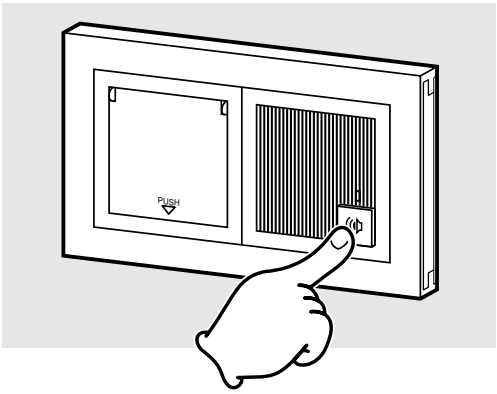

●サムターンを回して施錠する。
（ドアの内側）



# お客様が見えたとき

## 1 お客様と通話する。
（タッチ3型が接続してある場合）

●お客様がドアホン子器の呼出ボタンを押します。



●呼出音が鳴ります。

●通話ボタンを押して通話してください。

## 2 ドアの電気錠を解錠する。

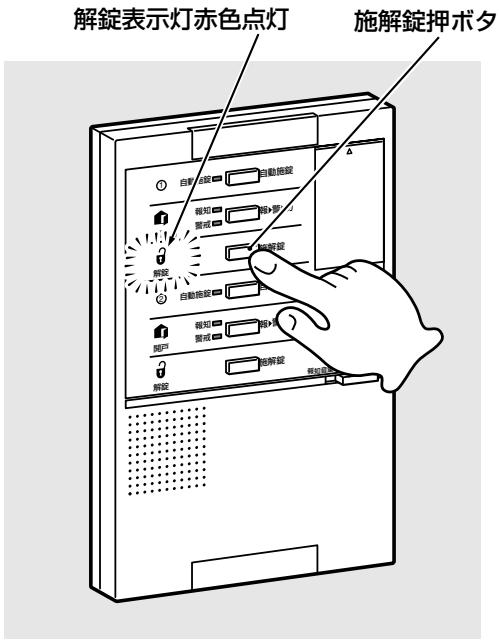
■電気錠操作ユニットの施解錠押ボタンまたは電気錠操作押釦の施解錠押ボタンを押す。

（電気錠①、電気錠②の区別は呼出音の種類で行ってください。）

●解錠表示灯が赤色点灯します。

（シークレットスイッチの解錠表示灯も赤色点灯します。）

●シークレットスイッチおよび非接触式キーリーダーから約1秒間ピー音が鳴ります。

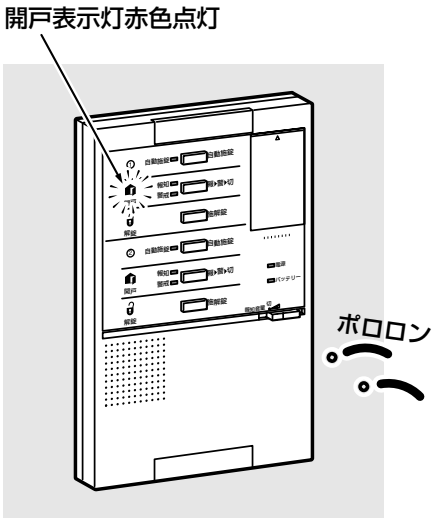


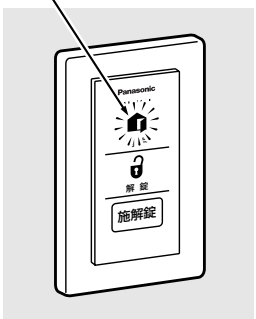
●図は電気錠操作ユニットの電気錠①回路側を操作した場合を示します。
●電気錠操作ユニットは埋込型のイラストで説明しています。

## 3 ドアを開ける。

●電気錠操作ユニットより開戸報知音（ポロロン）が鳴る。
（報知・警戒モードの場合）

●電気錠操作ユニットおよび電気錠操作押釦の開戸表示灯が赤色点灯する。



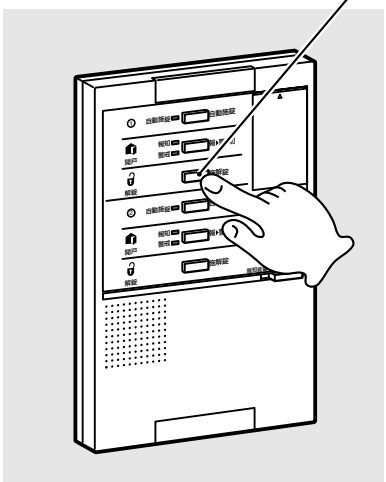

## 4 ドアを閉めて施錠する。

### 電気錠操作ユニットの自動施錠が「入」（自動施錠表示灯が緑色点灯）の場合

●ドアを閉めると電気錠は自動的に施錠される。
（シークレットスイッチおよび非接触式キーリーダーから約1秒間ピー音が鳴ります。）

### 電気錠操作ユニットの自動施錠が「切」（自動施錠表示灯が消灯）の場合

●電気錠操作ユニットの施解錠押ボタンまたは電気錠操作押釦の施解錠押ボタンを押す。
（ドアが施錠され、解錠表示灯が消灯します。）

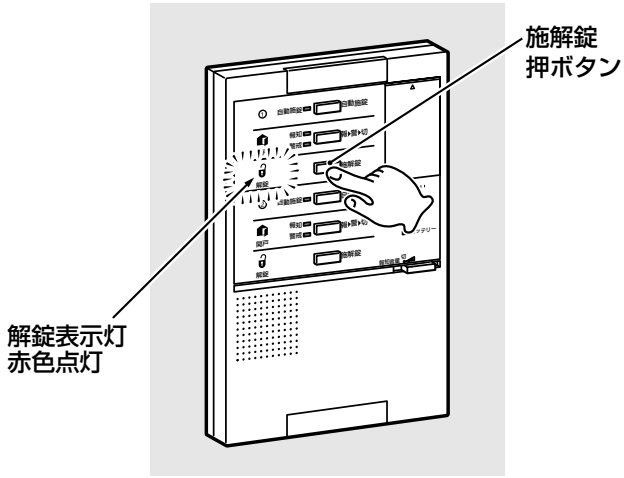


# お客様がお帰りになるとき

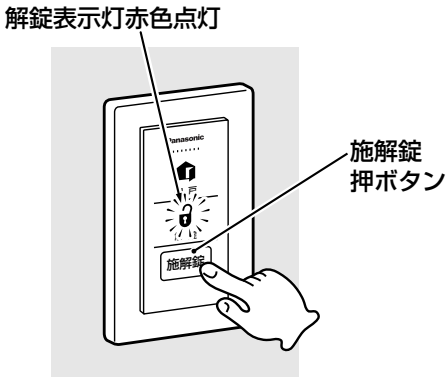
## ❶ドアの電気錠を解錠する。

●下記のいずれかの方法で行ってください。

●電気錠操作ユニットの施解錠押ボタンを押す。
（解錠表示灯が赤色点灯します。）

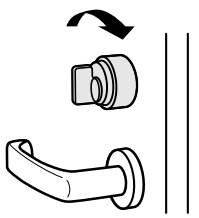



●電気錠操作押釦の施解錠押ボタンを押す。
（解錠表示灯が赤色点灯します。）




●サムターンを回して解錠する。
（ドアの内側）

注 門扉用の電気錠にはサムターンが付属されていないものもあります。



警戒モード時、サムターンを回して解錠した場合、警報音（ピーポー）が鳴ります。

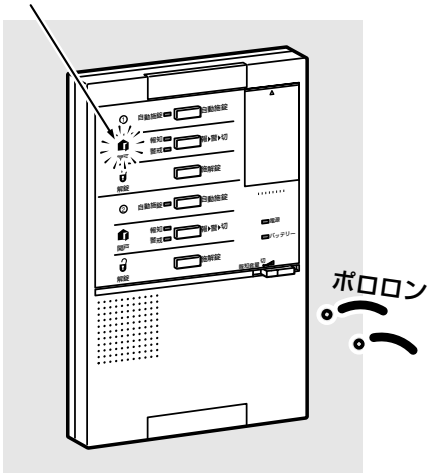
施工店設定

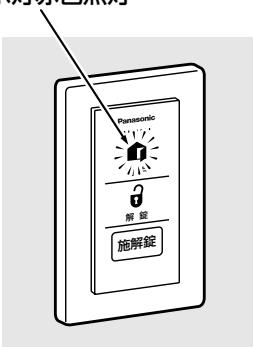
機能設定で警報音（ピーポー）を鳴らなくすることもできます。
（施工店に相談してください。）
（警戒モード切替設定➡27~28ページ）

## ❷ドアを開ける。

●電気錠操作ユニットより開戸報知音（ポロロン）が鳴る。
（報知・警戒モードの場合）

●電気錠操作ユニットおよび電気錠操作押釦の開戸表示灯が赤色点灯する。



●図は電気錠操作ユニットの電気錠 ①回路側を操作した場合を示します。
●電気錠操作ユニットは埋込型のイラストで説明しています。

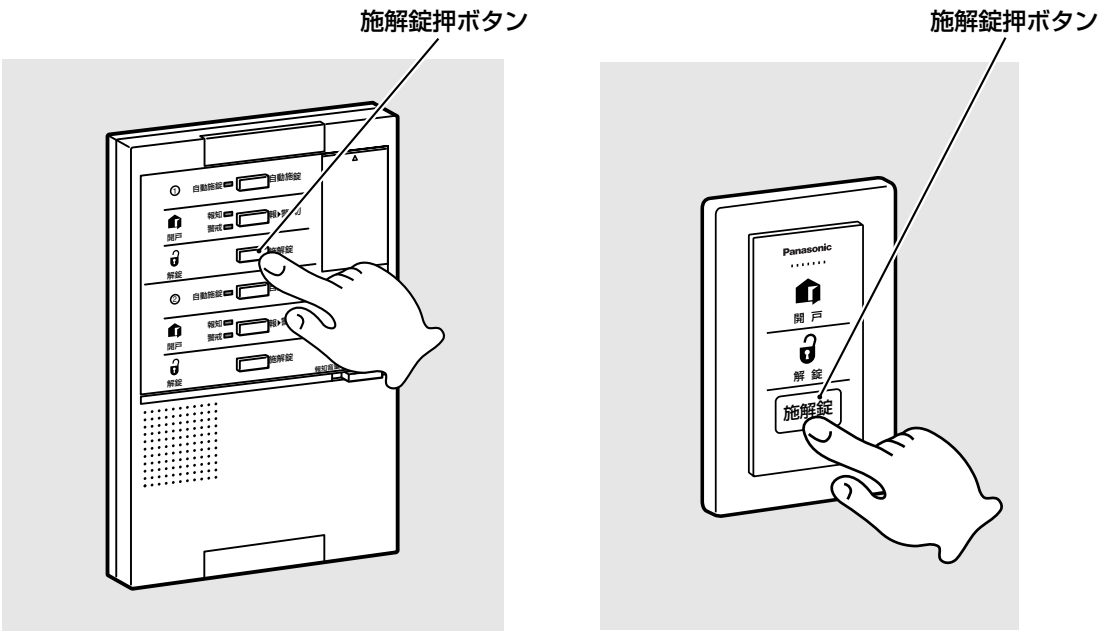
## 3 ドアを閉めて施錠する。

### 電気錠操作ユニットの自動施錠が「入」（自動施錠表示灯が緑色点灯）の場合

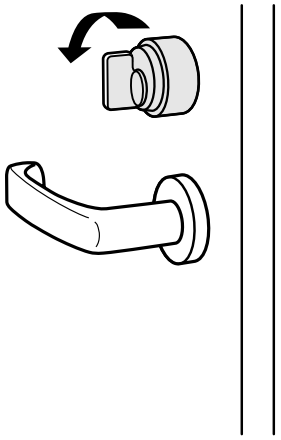
●ドアを閉めると電気錠は自動的に施錠される。
（シークレットスイッチおよび非接触式キーリーダーから約１秒間ピー音が鳴ります。）

### 電気錠操作ユニットの自動施錠が「切」（自動施錠表示灯が消灯）の場合

●電気錠操作ユニットの施解錠押ボタンまたは電気錠操作押釦の施解錠押ボタンを押す。
（ドアが施錠され、解錠表示灯が消灯します。）




●サムターンを回して施錠する。
（ドアの内側）

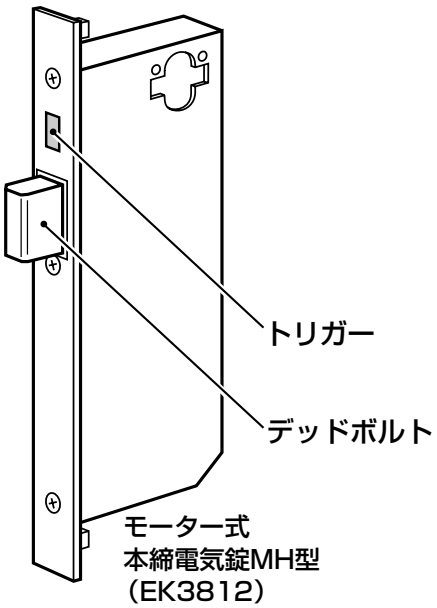


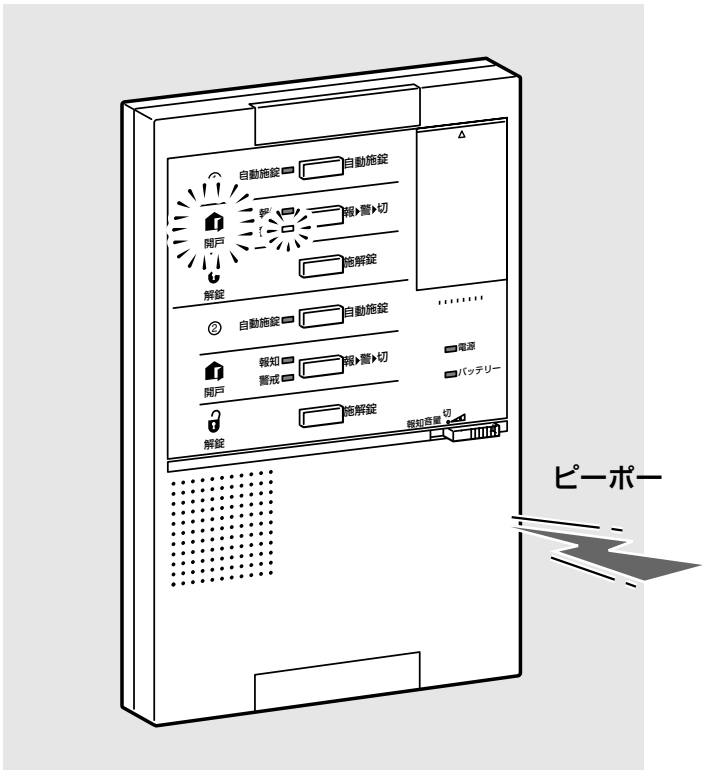
# 警報について

注 機能設定の警戒モード切替設定（27～28ページ）により動作が変わります。
警戒モード切替設定が「1」側の場合、サムターンまたはキーなどで手動解錠した場合も警報音（ピーポー）が鳴ります。

●ドアが施錠され、警戒状態のとき下記のようなことが起きると電気錠操作ユニットの警戒表示灯が赤色点滅し、警報音（ピーポー）が鳴ります。

❶ ドアがこじ開けられたとき。
❷ ドアとドア枠のすき間が大きくなり、ドアが閉まっても開戸表示灯が消灯しないとき。
❸ 電気錠操作ユニットの自動施錠「入・切」スイッチが「入」側で解錠時、トリガーに誤って触れたとき。
❹ サムターンまたはキーなどで開けられたとき。
（機能設定の警戒モード切替設定が「1」側の場合のみ）




●警報音（ピーポー）はドアを閉めても約5分間鳴り続けます。（警戒表示灯も赤色点滅します。）
5分後、自動的に警報音（ピーポー）は停止しますが、警戒表示灯は報知／警戒／切スイッチを押して、「切」状態にするまで赤色点滅し続けます。

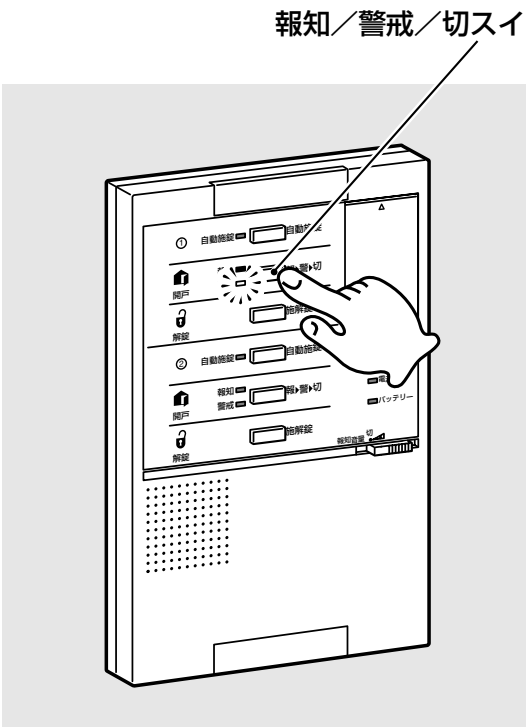
# 開戸報知音・警報音の止め方

### 開戸報知音の場合

●ドアを閉めれば開戸報知音は止まります。
（機能設定の警戒モード切替設定が「1」側の場合のみ）

●開戸報知音は2回鳴ると止まります。
（機能設定の警戒モード切替設定が「2」側の場合のみ）

●報知／警戒／切スイッチを押して、「切」状態にすれば開戸報知音は止まります。



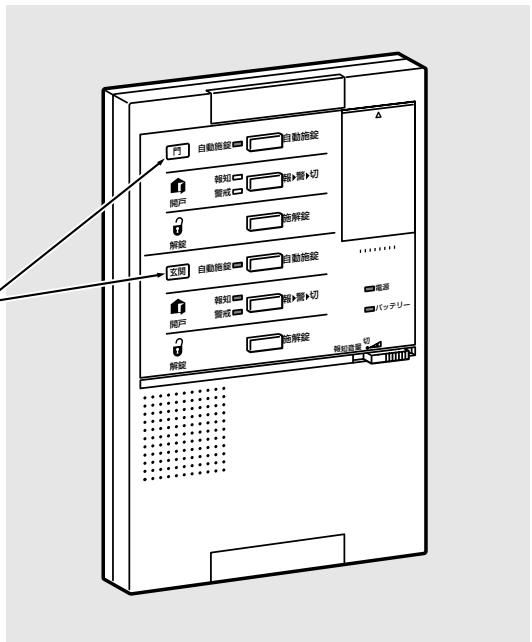

### 警報音の場合

●報知／警戒／切スイッチを押して、「切」状態にすれば警報音は止まります。

●5分経過すると自動的に警報音は止まります。

# ネームカードについて

●付属のネームカードを各回路に取り付けられた電気錠の取付場所にあわせて、取付場所表示窓に貼り付けてください。



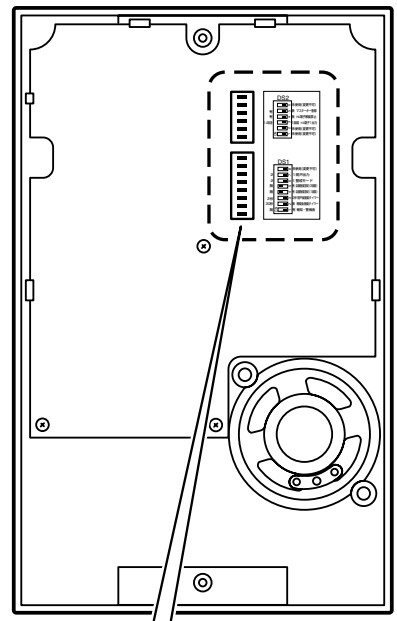

※図は付属のネームカードを貼り付けた状態を示します。

# 機能設定

注 設定時以外は手を触れないでください。

施工店設定 スイッチの設定については、施工店に相談してください。

カバー内側にあります。



使用しません（スイッチ6）
（必ず出荷時設定のまま使用してください。）

### マスターキー登録設定（スイッチ5）

5 ■□ 無のとき： マスターキーは使用しません。
5 □■ 有のとき： マスターキーを使用します。
（マスターキーがないと非接触式カード・非接触式タグの登録はできません。）

| 出荷時設定 | 「無」側：マスターキーは使用しない |
|---|---|

### HA端子解錠禁止設定（HA端子入力による解錠を禁止する設定）（スイッチ4）

4 ■□ 無のとき： HA端子による解錠操作が可能です。
4 □■ 有のとき： HA端子による解錠操作ができません。

| 出荷時設定 | 「無」側：HA端子による解錠操作が可能 |
|---|---|

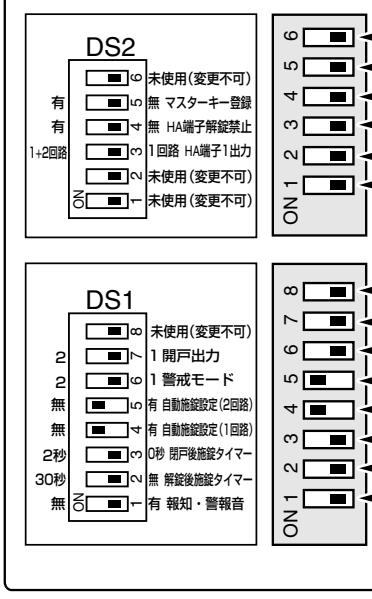
### HA端子1出力切替設定（HA端子1入力で施・解錠できる回路の設定）（スイッチ3）

3 ■□ 1回路のとき　：1回路側の電気錠のみ施・解錠します。
3 □■ 1＋2回路のとき：1回路側および2回路側の電気錠を施・解錠します。

| 出荷時設定 | 「1回路」側：1回路側の電気錠のみ施・解錠 |
|---|---|

使用しません（スイッチ1、2）
（必ず出荷時設定のまま使用してください。）

出荷時設定




### 開戸報知・警報音の設定（スイッチ1）

1 ■□ 有のとき： 開戸報知音・警報音が鳴動します。
1 □■ 無のとき： 開戸報知音・警報音が鳴動しません。

| 出荷時設定 | 「有」側：開戸報知音・警報音が鳴動する |
|---|---|

使用しません（スイッチ8）（必ず出荷時設定のまま使用してください。）

## 開戸出力設定（スイッチ7）

7 ■□ 1のとき ： 電気錠操作ユニット・非接触式キーリーダーなどの接続機器で解錠操作後に開戸された場合、開戸出力はしません。電気錠操作ユニットを簡易的な警戒操作キースイッチの代わりとして使用できます。

7 □■ 2のとき ： 開戸時は常時開戸出力します。

| 出荷時設定 | 「1」側：解錠操作後、開戸されたときは開戸出力しない |
|---|---|

## 警戒モード切替設定（スイッチ6）

6 ■□ 1のとき ： 電気錠操作ユニットを介さずにサムターンまたはキーなどで手動解錠した場合にも警報鳴動します。（電気錠操作ユニットによる解錠時は開戸報知音が扉が閉まるまで鳴動します。）

6 □■ 2のとき ： こじ開け（施錠・開戸状態信号受信）時のみ警報鳴動します。（こじ開け以外での開戸時は、開戸報知音が2回のみ鳴動します。）

| 出荷時設定 | 「1」側：電気錠操作ユニットを介さずにサムターンまたはキーなどで手動解錠した場合にも警報発報 |
|---|---|

## 自動施錠設定操作（2回路）の設定（スイッチ5）

5 ■□ 有のとき： 電気錠2の自動施錠「入・切」スイッチが有効になります。

5 □■ 無のとき： 電気錠2の自動施錠「入・切」スイッチが無効となり、自動施錠が設定できなくなります。シークレットスイッチを接続しないときは「無」側にします。

| 出荷時設定 | 「無」側：電気錠2の自動施錠「入・切」スイッチが無効 |
|---|---|

## 自動施錠設定操作（1回路）の設定（スイッチ4）

4 ■□ 有のとき： 電気錠1の自動施錠「入・切」スイッチが有効になります。

4 □■ 無のとき： 電気錠1の自動施錠「入・切」スイッチが無効となり、自動施錠が設定できなくなります。シークレットスイッチを接続しないときは「無」側にします。

| 出荷時設定 | 「無」側：電気錠1の自動施錠「入・切」スイッチが無効 |
|---|---|

## 閉戸後施錠タイマーの設定（スイッチ3）

3 ■□ 0秒のとき：自動施錠モードに設定されているとき、電気錠を取り付けた扉から「扉開➡閉」信号が入ったとき即施錠します。

3 □■ 2秒のとき：自動施錠モードに設定されているとき、電気錠を取り付けた扉から「扉開➡閉」信号が入ったとき2秒後に施錠します。

| 出荷時設定 | 「0秒」側：即施錠する（通常は0秒で使用してください。） |
|---|---|

## 解錠後施錠タイマーの設定（スイッチ2）

2 ■□ 無のとき ：自動施錠モードに設定されているとき、電気錠を取り付けた扉から「扉開➡閉」信号により施錠します。

2 □■ 30秒のとき：自動施錠モードに設定されているとき、電気錠を取り付けた扉から「扉開➡閉」信号により施錠します。また、扉閉状態で解錠状態が30秒以上続くと自動的に施錠します。施錠忘れを防止するときに設定します。

| 出荷時設定 | 「無」側：解錠後、施錠タイマーなし |
|---|---|

# 故障かな？と思われたら

●修理、サービスを依頼される前に次の点検・処置をしてください。

| 状　態 | 点　検 | 処　置 |
|---|---|---|
| 電気錠が動作しないとき | ●ブレーカーが切れていませんか？ | ➡ブレーカーを入れてください。 |
| | ●電気錠操作ユニットの電源スイッチが「OFF」側になっていませんか? | ➡電気錠操作ユニットの電源スイッチを「ON」側にしてください。 |
| | ●電気錠操作ユニットの二次側ヒューズが切れていませんか？ | ➡施工店へ連絡してください。 |
| バッテリー表示灯が赤色点滅しているとき | ●電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源（WQN48）（別売）の寿命がきていませんか？（約2年） | ➡施工店へ連絡してください。 |
| バッテリー表示灯が消灯しているとき | ●電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源（WQN48）（別売）が接続されていません。 | ➡停電バックアップ電源が必要な場合は、施工店へ連絡してください。 |
| 自動施錠「入・切」スイッチを押しても自動施錠表示灯が緑色点灯しないとき | ●機能設定の「自動施錠設定操作の設定」（27～28ページ）が「無」側になっていませんか？ | ➡施工店へ連絡してください。<br>（機能設定の「自動施錠設定操作の設定」を「有」側に設定してください。ただし、シークレットスイッチが接続されていない場合は、機能設定の「自動施錠設定操作の設定」を「無」側に設定してください。） |
| シークレットスイッチで暗証番号を押しても解錠できないとき | ●暗証番号を間違えていませんか？ | ➡約10秒後にもう一度、押し直してください。 |
| | ●暗証番号が変更されていませんか？ | ➡暗証番号を調べてください。<br>注 **シークレットスイッチの暗証番号の設定方法 ➡7ページ** |
| 非接触式カードまたは非接触式タグをかざしても施・解錠できないとき | ●サイフなどに入れてかざしていませんか？ | ➡サイフなどの中から非接触式カードまたは非接触式タグを出してかざしてください。 |
| | ●他の非接触式カード・非接触式タグや他のカード、金属物などと重ねてかざしていませんか？ | ➡重なった非接触式カードまたは非接触式タグをはなしてかざしてください。 |
| | ●非接触式カードまたは非接触式タグは登録されていますか？ | ➡非接触式カードまたは非接触式タグを登録してください。<br>注 **「登録について」➡11～13ページ** |
| サムターンまたはキーで施・解錠できないとき<br>サムターンまたはキーがうまく回せないとき | ●ドアは完全に閉まりますか？ | ➡ドアの建て付け修理をしてください。 |
| サムターンまたはキーで解錠しても警報音（ピーポー）が鳴るとき | ●機能設定の「警戒モード切替設定」（27～28ページ）が「1」側になっていませんか？ | ➡サムターンまたはキーなどで解錠される場合は、施工店へ連絡してください。 |

| 状　態 | 点　検 | 処　置 |
|---|---|---|
| **施錠できないとき**<br>**警戒中にドアを開けないのに、警報音(ピーポー)が鳴るとき**<br>**風などでドアががたつくと開戸報知音(ポロロン)または警報音(ピーポー)が鳴るとき** | ●ドアとドア枠の間隔が5mm以上になっていませんか？<br>●ドアを閉めると開戸表示灯が消灯しますか？ | ➡ドアの建て付け修理をしてください。 |
| **マスターキーの登録ができないとき** | ●機能設定の「マスターキー登録設定」(27ページ)が「無」側になっていませんか？ | ➡マスターキーが必要な場合は、施工店へ連絡してください。<br>(機能設定の「マスターキー登録設定」を「有」側に設定してください。) |
| **モード番号 H1 が表示されないとき** | ●機能設定の「マスターキー登録設定」(27ページ)が「有」側になっていませんか？ | ➡マスターキーが不要な場合は、施工店へ連絡してください。<br>(機能設定の「マスターキー登録設定」を「無」側に設定してください。) |
| **モード番号 H5 が表示されないとき** | ●機能設定の「マスターキー登録設定」(27ページ)が「無」側になっていませんか？ | ➡マスターキーが必要な場合は、施工店へ連絡してください。<br>(機能設定の「マスターキー登録設定」を「有」側に設定してください。) |

# 仕　様

| | |
|---|---|
| 電 源 電 圧 | AC100V　50／60Hz |
| 消 費 電 力 | 警報時最大：60W以下　待機時：5W以下 |
| 使用周囲温度 | 0℃～＋40℃ |
| 寸　　法 | 高さ：約240mm　　幅：約150mm<br>奥行：約60mm（WQN4133WKの場合、商品取付時、壁面より約20mm） |
| 質　　量 | 約750g<br>（電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源（WQN48）（別売）は含まない。） |
| 音　　量 | 開戸報知音：65dB以上（前方1m）<br>●ポロロン<br>警報音：70dB以上（前方1m）<br>●ピーポー（ピーポー音、5分間で自動停止） |
| 外部電源電圧<br>（停電バックアップ用） | DC14.4V（10.8V～18V）<br>（ニッケル水素電池、1.2V×12セル、単4型）<br>（電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源（WQN48）（別売）） |
| 停電バックアップ時間<br>〔使用周囲温度20℃、新品電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源で満充電時〕 | ●シークレットスイッチ・2線式電気錠を1回路につき各1台接続時<br>：約8時間（約8時間以内に1回動作可能）（2ヵ所）<br>●非接触式キーリーダー・シークレットスイッチ・2線式電気錠を1回路につき各1台接続時<br>：約4時間（約4時間以内に1回動作可能）（2ヵ所）<br>電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源（WQN48）（別売）を接続する必要があります。また、温度・電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源の使用期間により停電バックアップ時間は短くなります。 |

# 保証とアフターサービス

## よくお読みください

修理・使いかた・お手入れなどは…

**■まず、お買い求め先へご相談ください。**

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名

電　話（　　）　　－

お買い上げ日　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは…
29～30ページの「故障かな？と思われたら」でご確認のあと、直らないときは、まず電気錠操作ユニット用停電バックアップ電源を使用している場合はコネクタをはずして、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名　電気錠操作ユニット

●品　番

●故障の状況　できるだけ具体的に

**●保証期間中は、保証書の規定にしたがって出張修理いたします。**

**保証期間：お買い上げ日から本体1年間**

**●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。**

修理料金は次の内容で構成されています。

**【技術料】**診断・修理・調整・点検などの費用
**【部品代】**部品および補助材料代
**【出張料】**技術者を派遣する費用

**●補修用性能部品の保有期間** 7年

当社は、この電気錠操作ユニットの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

**■転居や贈答品などでお困りの場合は、お客様ご相談窓口（別紙一覧表参照）にご相談ください。**

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などは、ホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/

MEMO

パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地
電話 0120-283338 FAX 0120-551626
© Panasonic Corporation 2012
8A2 F96 00007　S0704-60112A